平成 24年 第 2 回 筑前町議会定例会会議録

招集年月日	平成 24年 6月 25日 (月)
招集の場所	筑前町役場議会議場
開 会	平成 24年 6月 29日 (金) 9時 30分
散 会	平成 24年 6月 29日 (金) 15時 55分
出席議員	<p>議長 宮原 均 1番 山本 久矢 3番 栗野 光雄 4番 田中 政浩 5番 石丸 時次郎 6番 川上 康男 7番 福本 秀昭 8番 久保 大六 9番 一木 哲美 10番 梅田 美代子 11番 藤野 久 12番 内堀 靖子 13番 河内 直子 14番 金子 保次 15番 矢野 勉</p>
出席議員	15名
欠席議員	なし
地方自治法第122条の規定により説明の為に出席した者の職氏名	<p>町 長 田 頭 喜久己 副町長 畠 中 誠 二 教育長 大 雄 信 英 総務課長 広 田 博 文 企画課長 伊 藤 宗 彦 財政課長 岩 下 定 幸 税務課長 森 部 純 一 納税推進室長 大 庭 俊 一 住民課長 小 林 秋 彦 健康課長 吉 郷 豊 環境防災課長 砥 綿 淳 二 建設課長 美 根 勉 都市計画課長 金 子 一 智 農業委員会事務局長 木 村 賢 治 農林商工課長 山 本 一 洋 出納室長 川 波 厚 志 下水道課長 村 下 大 成 水道課長 原 口 博 文 福祉課長 倉 地 善 一 こども課長 久 家 和 文 教育課長 佐 藤 繁 人 生涯学習課長 入 江 哲 生</p>
欠 席 者	なし
本会議に職務のために出席した者の職氏名	<p>議会事務局長 松 尾 政 記 議会事務局主査 吉 塚 三千代</p>

議 事 録

平成24年第2回定例会

[一般質問]

平成24年6月29日(金)

開 議	
議 長	<p>本日の出席議員は、15人につき定足数に達しております。 会議を開きます前に、ご報告いたします。 11番 藤野久議員より、所要のため、9時50分より約1時間退席の申し出が っておりますので、これを許可します。 これから、本日の会議を開きます。</p> <p style="text-align: right;">(9:30)</p>
議 長	<p>昨日の一般質問の中で、7番福本議員より、不適切な発言について訂正の申し出が ありますので、これを許可します。 福本議員</p>
福本議員	<p>ただ今、議長からお話がありましたように、1番目の質問の中で、社会体育利用 を呼び掛けるにあたって、「啓蒙啓発」という文言を申し上げたわけでございます。 したがって、「啓蒙」について、削除をさせていただきたいと思っております。どう かよろしくお願い申し上げます。以上です。</p>
日程第1	
議 長	<p>日程第1 一般質問を、昨日に引き続き行います。 質問の通告がありますので、順次発言を許します。 8番 久保大六議員</p>
久保議員	<p>皆さんおはようございます。 今回は、一般質問2日目のスタートでございます。限られた時間の中、しっかりと 質問してまいります。執行部におかれましては、簡潔なる答弁をいただきますように、 よろしくお願いを申し上げます。 今回の通告は、安全と安心についてと電力確保、そして最後に、町の活性について、 の3件であります。 また、質問の要旨が9項目にもありますので、ちょっと足早になるかと思っておりますが、 よろしくお願いをいたしまして、質問に入らせていただきます。 初めに、安全と安心についての1であります、災害対策について、質問をいたしま す。 近年、地球上では、温暖化や太陽の黒点の減少などの影響なのか、世界各地で異常 気象が発生をしております。また、甚大なる被害も出ておるわけでございます。 日本におきましても昨年は、想像をはるかに超えたゲリラ豪雨、また、家をも潰す ような豪雪、また今年に入っては、栃木県のつくば市で、風速100mに近い巨大竜 巻が発生をし、幅が500m、距離17キロにも及ぶ住宅地等に、甚大なる被害と1 名の尊い犠牲が発生をいたしました。 今回の竜巻は、2006年に9名が亡くなりました北海道のサロマ市での竜巻と同 じクラスの、国内観測史上最大の竜巻であったということでございます。 また、6月としては珍しい台風4号、5号では、降水量といたしまして、鹿児島で 193ミリ、土佐市では290ミリ、和歌山市では179ミリと報告がっております。 特に土佐市では、3時間に100ミリの雨が降り、それによって河川が氾濫し、 周辺全体が冠水をしております。 大災害がどこで起こるか分からない、いつ発生するか分からない、そういうのが今 の現状でございます。 そこで、担当課長にお聞きします。 今回の台風4号、5号ではですね、幸いにもわが地域は難を逃れました。しかしな がら、今回の台風がもう少し北上をしていたらと思うと、危機を感じるわけでござい ます。</p>

	<p>3年前の7月大雨が降りました。わが町の河川、私もちょっと危なかったけど、見て回りました。すべての河川が氾濫寸前でした。至るところに堤防を越えたところもございました。</p> <p>もし筑前町で今回のような、土佐市や和歌山市のような200ミリを超える大雨、また、3時間で100ミリを超えるようなゲリラ豪雨が発生をしたとしたらですね、河川は大丈夫だったのだろうか。</p> <p>これにつきまして、担当課長、答弁をお願い申し上げます。</p>
議長	環境防災課長
環境防災課長	<p>それでは、最初に、環境防災課のほうより、防災という観点から回答をさせていただきます。</p> <p>事前、事後の災害対策につきましては、防災、災害の基本であります自助、共助、公助が連携することで、効果を最大限に発揮することができると考えております。</p> <p>災害には、議員も申されましたように、数多くの様々なパターンがございます。個人、地域、町、それぞれの一刻、一刻の状況判断が重要となります。</p> <p>地域独自の防災マップ、防災計画が地域に合った現実的かつ機能的な防災、減災対策であると考えます。</p> <p>議員が申されますように、水害、河川の氾濫等に対する事前の対策といたしましては、地域ごとで、また地域の中でも場所ごとで、それぞれ状況が異なります。</p> <p>町のほうでは、平成19年3月に策定されました筑前町地域防災計画に沿って、災害予防、応急対策、復旧・復興の1つ1つの計画の再確認と、それぞれの具体的な個別計画、例えば職員の災害初動マニュアルの徹底、適正な備蓄計画、避難箇所、避難機能の確認と拡充、救助、復旧など、実際にしっかりと運用できる体制を確認し、整えることが対策だと考えております。</p> <p>昨年の東日本大震災を受けて、福岡県でも地域防災計画の見直しを行っており、筑前町としては、現在、県の見直し結果との整合性を検討しているところでございます。</p> <p>以上で、環境防災課のほうから、ソフト面での防災という観点からのお答えをいたしました。以上です。</p>
議長	建設課長
建設課長	<p>おはようございます。</p> <p>関連でございますので、ハード事業の視点で、私より回答させていただきます。</p> <p>建設課といたしましては、定期的巡視点検と梅雨時期前巡視点検として、事前に中山間地域及び道路、河川の重点パトロールを計画的に実施し、必ず4カ所のアンダーほか、いつも日頃のですね、水害となる河川数カ所を事前に確認しております。</p> <p>事後対策としまして、河川、護岸が被災した場合、被災後は河川沿岸地域及び生活に必要な道路への対応と農作業への影響など、緊急性、危険性を十分考慮し、早急な対応に最善を尽くしたいと考えます。</p> <p>大規模な場合、自衛隊出動要請なども視野に入れているところです。</p> <p>災害復旧としましては、緊急的に対応が必要な場合、また、応急処置を優先的に処理をいたします。</p> <p>公共災害、農業災害などの国庫補助災害申請に向け、即測量設計の補正予算対応、また予算確保及び災害査定後の実施設計、また工事発注、事後の対策を進めていきたいと考えております。以上でございます。</p>
議長	久保議員
久保議員	<p>詳しい説明ありがとうございます。</p> <p>しかし、私が質問をした内容に対する答弁が入っておりません。</p> <p>時間も限られた時間でございます。質問に対しての答弁を、回答をお願いしたいと</p>

	<p>思います。</p> <p>今、私が質問をしたのは、200ミリを超える大雨、3時間で100ミリを超える、今回の土佐、和歌山市のような状態が発生した場合には、筑前町の河川はどんな状況になったんだろうかと。</p> <p>これは、なってみないと分からんかもしれませんが、大体想像ができると思います。その答弁をお願いします。</p>
議長	建設課長
建設課長	<p>お答えいたします。</p> <p>大雨で河川が水量が増えて、被災した後につきましてハード事業ということで、建設課としては災害対策のほうに進んでまいりたいと考えております。以上でございます。</p>
議長	久保議員
久保議員	<p>3年前の大雨でですね、河川氾濫寸前でございました。その時は200ミリとか、3時間で100ミリの雨ではございませんでした。</p> <p>この雨が降ったときには、すべての川が氾濫をする。これが筑前町の現状だろうと思います。</p> <p>今、説明を詳しくいただきましたようにですね、防災組織づくり、防災マップ、ウォーターハザード、これは作られておるのは十分承知しています。住民の安全に努力をされていることも十分承知しております。</p> <p>しかし現実的にこのような雨が降ったとき、被害を最小限に食い止める、この想定外の事態に、やっぱり備えておかなければならない、これが今の異常気象状況なんです。</p> <p>想定外の事態にですね、住民一人ひとりの危機意識の啓発、緊急避難先の事前確認、これが最も大事じゃないかなと。このような取り組みが住民の命を守る一番の対策だと、これは今現実的に言われております。</p> <p>まして筑前町は津波は来ませんね。想定されるのは風水害だと、私は思います。</p> <p>河川が氾濫すれば、町が指定した避難場所まで行けなくなる状態、これが考えられます。特に深夜であればですね、近場の高台とか大きな建物、これに避難をさせてもらう、こういうふうな事前の安全箇所の確認、そして大きな建物の所有者との確約、こういうことが必要ではないか。</p> <p>新聞にですね、熊本県では、災害警戒区域の中にですね、避難箇所が84カ所もあったと。ウォーターハザードはあるにもかかわらず84カ所、浸水をする場所に避難所があったと。これはもう見直しをしなければいけないという記事が載っております。想定外のときには避難所まで行けないんです。</p> <p>町長にお聞きいたします。</p> <p>3年前も水がオーバーフローしたんですけど、草場川ですね。</p> <p>草場川、これが氾濫すれば弥永地区、曾根田川であれば東小田上の地区、赤坂、西田の川であれば中牟田、石櫃地区、山家、朝日の川であればですね、朝日西の地区が冠水をいたします。いろんな危険な箇所があるわけでございます。</p> <p>特に、朝日にはカーサマンションという大きな建物があります。その前に西部コミュニティがありますけど、あそこは水につかる場所でございます。</p> <p>また、大きな建物もですね、他にも危険な場所もあると思います。</p> <p>そういう高台の家を緊急避難場所として、所有者との覚書、約束を交わしておくべきではないかなと思うんですよね。想定外が発生する恐れがございます。</p> <p>町長、その辺どのようにお考えでしょうか、見解をお願いします。</p>
議長	畠中副町長

副町長	<p>私のほうよりお答えさせていただきますけれども。</p> <p>先ほどの200ミリ、1時間降った場合ということで、河川の関係は久保議員言っておりますけれども。</p> <p>大体1時間50ミリ降るといふことであればですね、バケツをひっくり返したような状況になります。そういった中では、河川の氾濫前にですね、すべての道路が冠水すると。</p> <p>この前、去年だったと思いますけれども、雨が降ったとき、朝ちようど7時過ぎだったと思いますけれども。国道そのものがですね、依井の、もう見えないわけですね。それでも50ミリ降っていませんので、道路と側溝、そういったものが全く分からないと。もちろん側溝は蓋かぶってありますけれども。</p> <p>そういったような道路がありますから、河川そのものは当然氾濫するという判断をしておるところでございます。</p> <p>それと、今、ご質問されました避難所、学校とかそういったところだけではなくて、近隣のそういったところ、別なところ、2階建てとか高いところという話ありますけれども、その質問だと思いますけれども。</p> <p>当然ながら、うちの防災計画の中では、避難所を10カ所ほど、体育館とかしていますけれども。先ほど言いましたように、200ミリというのはちょっと想定外ですけども。そういったものが降れば、もうそこには行けないわけですね。</p> <p>そうすると自分の家の2階に上がるのか、それともそれ前に、近くの高いところに行くかというようなことになりますので、そういったものも含めてですね、今後は検討していきたいと、かように考えておるところでございます。以上です。</p>
議長	久保議員
久保議員	<p>的確なる答弁、ありがとうございました。</p> <p>そのような取り組みがですね、想定外の災害のときに防災に役立つわけでございます。町民の大切な生命を守る、これが一番大事じゃないかなと思います。</p> <p>ぜひですね、そういう高台とか地区住民の個人の家ですけどね、そういう方々との連携の下に避難場所をつくる、これに取り組まれますようによろしく願いいたします。</p> <p>次に、赤坂地区の埋め立て工事について、質問をいたします。</p> <p>面積が1町1反、高さが5m、埋め立て土砂、これは当初の話でございましたけど、10tトラック1万台分、5万^m³ですね。</p> <p>この赤坂地区での埋め立て工事は、下流住民の不安の中に、業者と行政との中で、覚書をもって埋め立て工事が開始されたという経緯がございます。</p> <p>今現在、かなりの工事が進んでおりますが、担当課長にお聞き申し上げます。</p> <p>工事の進行に伴い、覚書どおりの定期的土質検査や水質検査、これがなされておるのか。また、検査をされておるのであれば、検査結果もお聞かせをお願いします。</p>
議長	都市計画課長
都市計画課長	<p>お答えいたします。</p> <p>開発目的を資材置き場とする赤坂長浦地区の開発行為につきましては、平成23年の11月8日に工事に着手いたしております。</p> <p>埋め立て工事は資材置き場の許可面積、今おっしゃったように、1.1haでございますが。開発協議申請に際しましては、町と覚書を取り交わして、現在適切に覚書を順守されておると思っております。</p> <p>まず、工事着手前の平成23年の10月に、工事着手前の放水路の水質と盛り土後の表土排出土を比較するための、放水路の水質測定を実施いたしております。</p> <p>埋め立てに用いております土は、産業廃棄物やその他政令等に定める廃棄物を含ま</p>

	<p>ない建設発生土でありまして、工事施工中の土砂等の流出防止策や交通の妨害、その他安全対策に配慮する等の、通常の指示事項に加えまして、付帯条件といたしまして、高さ1mごとに町が定める地点での施工写真の撮影、工事着手の日から3カ月後の工事進捗状況の報告、申請のあった3工区のうち、第1期の工事が完了に伴いました土壌検査報告など、町の指示に従いまして履行がされておるところでございます。</p> <p>また、工事着手から職員が月に1回現地に立ち入りまして、調査を実施しておりますけれども、12月から6月まで、都合6回行っておりますけれども、いずれの場合も異常なしという報告を受けておるところでございます。</p> <p>併せて、地元区長からの指摘事項や改善事項について、現在、私のほうには連絡は入っておりません。</p> <p>それから、水質検査の件ですけれども、事前にですね、10月29日の日に、側溝水の水質検査を行っております。時期が10月の終わりということで、ほとんど水が流れていなかったという時期ではあったんですけれども、ペーハーは7.1ということで、生物化学酸素要求量、BODですね、これが若干高かったと、水が汚れておったということですが、それから、浮遊物等は、流れてない時期ですから、かなりあったということですが、</p> <p>カドミウムその他の化合物、シアン化合物、それから鉛その他の化合物、ロッカクロムの化合物、ヒ素その他の化合物、水銀、アルキル水銀、その他の水銀化合物についても、規定値以下であるということで報告を受けております。以上です。</p>
議長	久保議員
久保議員	<p>今の答弁によりますと、覚書どおり検査をされ、異常がなかったということでございます。ひと安心をしたわけでございます。</p> <p>埋め立て業者の方もですね、違反をすれば工事中止や免許取り消し、このような厳しい罰則があるので、まず、違反行為はないと信じております。がしかし、下流住民の方々には、未だに心配をされておるわけでございます。</p> <p>井戸水を使ってある方もまだ多ございます。行政として、覚書に従い調査を、検査をされているのであれば、その検査結果をですね、今日初めて聞きましたけど、地元区長なり住民に報告をするべきじゃないかなと。</p> <p>報告はそんなに時間のかかるものでもありませんし、これは1つの責任かと思いますが、担当課長、答弁をお願いします。簡潔をお願いします。</p>
議長	都市計画課長
都市計画課長	<p>当然、覚書に基づいて報告を受けておるわけでございますので、工事の進捗状況を、町が受理した直近のですね、直近に開催される議会の全員協議会、あるいは区長会等でございますね、工事の進捗状況や水質・土壌検査の結果等については、ご報告をさせていただきたいというふうに考えております。</p>
議長	久保議員
久保議員	<p>今後はですね、ぜひ検査された後はですね、検査結果を報告をしていただきますように、お願いをいたします。</p> <p>次に、外国人による山林買収について、質問いたします。</p> <p>近年、中国、韓国関係者による北海道や対馬での土地の取得、東京都の中国大使館用地としての5,677㎡、この1等地を60億円強で取得をしております。</p> <p>また、中国による沖縄嘉手納基地周辺のリゾートの買収、このようなことが頻繁に起こっております。国家的な危機を感じる次第でございます。</p> <p>先日めぐーるの大ホールで櫻井よしこ氏の講演がありました。</p> <p>やっぱりその中でもですね、外国資本による国土の買収に対しては、国民はもっと危機意識を持って対応しなければならない。国もですね、という警告をしてありまし</p>

	<p>た。</p> <p>気がつけば日本は外国の領土になっていたと。たとえ話で行けばですね、蛙のぬるま湯というのがあります。そのようなことでございます。</p> <p>担当課長にお聞きします。</p> <p>筑前町は多くの山林を有しております。特に、三箇山地区では、以前山林を買収した業者が、産廃捨て場にしたという経緯がございました。</p> <p>それですね、今現在、この外国資本による山林買収の報告、このようなものがあるかどうか、簡潔に答弁をお願いします。</p>
議 長	農林商工課長
農林商工課長	<p>お答えいたします。</p> <p>現時点で本町において、外国人の方が町内の森林を購入したという事実は、こちらのほうではつかんではおりません。</p> <p>現地のほうとかでも、三箇山のほうとかでも確認をしましたが、何人かにお聞きして、そういうことは今のところまだ入って来てはいないということでございます。以上でございます。</p>
議 長	久保議員
久保議員	<p>今、バブルの崩壊やリーマンショック等でですね、土地はたいへん下落をしております。特に山林はタダ同然、今が買い時なんですね、利用目的があればですね、そこに外国資本がつけ込んで来ているということでございます。</p> <p>水源であれば、水を全部持って帰りますよ。下流の人はたいへんな死活問題になっていきます。</p> <p>国土は国民が一丸となって守っていかなければなりません。ぜひ町としても、そのような外国資本による山林の買収等があるようなときにはですね、いち早く情報等を集めていただいて、町の安全と安心に努めていただきたい。</p> <p>これに条例を作れとか言ってもですね、もう無理なことは分かっております。これは、国がやることなんですね、国が法をもってですね、法改正をもってやっていかなければならないんだけど、わが町はわが町で守らなければいけない、そのようなアンテナを張っていただいて、住民の安全をよろしく願い申し上げます。</p> <p>次に、通学路について、質問いたします。</p> <p>昨日田中議員の質問の中で、通学路についてということで、質問があっておりました。視点を変えての質問とさせていただきます。</p> <p>先日、学校安全対策委員会がありました。その中でスクールガードリーダーの古田氏より、一番危険な通学路は、小川の水が集まり、最後は大河となるたとえからですね、全校生徒が集まる学校周辺がいちばん危険なんですよ、こういうお話がありました。私もなるほどだなと。</p> <p>遠くから集まって来て、最後には学校に集まる。子どもが一番多く集まる場所は学校周辺、なるほどでございます。</p> <p>近年通学路を通過して登校している児童の列に車が突っ込む、当然命が奪われる。この前は交通指導をしてあった妊婦の方がですね、本当に悲惨な事故死をなさいました。ご冥福を申し上げる次第でございます。</p> <p>担当課長にお聞き申し上げます。</p> <p>この児童の安全、生命を守るために、学校周辺の通学路の路側帯にカラー舗装、これをすれば安全度が増します。このカラー舗装、できないものか、ご答弁をお願い申し上げます。</p>
議 長	建設課長
建設課長	お答えいたします。

	<p>カラー舗装ということの観点で、建設課よりお答えいたします。</p> <p>カラー舗装の事例といたしましては、新町地区の旧まちづくり交付金事業などにおきまして、何カ所か交差点等においてカラー舗装などを行っております。そのことは有効であると思います。</p> <p>現在また、篠隈地区のまちづくり交付金事業などにおきまして、通学路についても改良舗装をしておりますが、車の通行量に合わせて、車道と歩道の区別ということで、白線をしているまでになっておるところでございますが、カラー舗装をやるということは、設計上単価も高くなってくるともあつて、会計検査対策なども考えて、カラー舗装を考えますと、その舗装を目的とした補助事業などの、活用を繋げる検討が必要と考えております。以上でございます。</p>
議 長	久保議員
久保議員	<p>近隣の市町村で通学路の路側帯、カラー舗装をしているところがございまして。たいへん子どもの安全度が増しているという話も聞いております。</p> <p>ぜひですね、そういうところの調査研究もなさつてですね、確かに財源的な問題もあると思います。しかし、児童の命を守ることも大事でございます。</p> <p>財源がかかるということが一番の壁でございますけど、ぜひですね、子どものために補助事業等の財源を活かしながら、お願いしたいと思います。ぜひお願い申し上げます。</p> <p>もう1点、通学路で質問いたします。</p> <p>これは、以前私の質問に対する追跡質問になります。</p> <p>地元区長からも道路整備の要望が出されております蔵役地区のカーブで狭くなつて危険な通学路、この整備がですね、やっぱり財源上とか順位制からまだ進んでおりません。未だにたいへん危険な状態が続いております。</p> <p>町長にお聞きします。</p> <p>町長も現場をご存じだと思います。蔵役のカーブですね、狭いカーブ。</p> <p>財政上もう少し遅れるとかですね、順番がまだ後というのであれば、まずは安全対策として、道路の内側に電柱が立っております。これを早急に外側に移設するべきじゃないかなと、そうすればかなり安全度が増すと思います。</p> <p>これは、町長にお聞きするべきものかとは思いますが、町長としてのご答弁をお願い申し上げます。</p>
議 長	田頭町長
町 長	<p>お答えいたします。</p> <p>現地等は私も通る道路でございまして、よく存じておるところでございます。</p> <p>旧道の路線がですね、非常まだ改修が必要な箇所が多いということも十分承知しております。</p> <p>その箇所についても、写真のほうも今、私持っておりますけれども、確かにこの電柱がなければ、もっと通行しやすくなるのは間違いなからうかと思つてます。</p> <p>関係機関と協議しながら、検討していきたいと思つてます。よろしくお願ひいたします。</p>
議 長	久保議員
久保議員	<p>早急に対応していただきますように、よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>行政としてはですね、今、話もありますように、財政問題とか順番とかがあつて思つてます。これは十分承知しております。</p> <p>しかしながら、危険箇所とかいろんな場所で要望があつたときには、現場を確認されることは間違いなかつて思つてますけど、そのときに、全部いつべんにではなくて、危険度があるということであればですね、できることから早急に対応していただく、こ</p>

	<p>それは、今回の通学路とかです、そういう問題だけじゃなくて全体的にですね、やはり要望等があったときには確認をして、できることからやるというのが、これは、行政としての1つの仕事と言いますか、対応ではなかるうかと思しますので、よろしく願いしておきます。</p> <p>それでは、次のスクールガードについて、質問いたします。</p> <p>今、筑前町としましては、子どもたちの安全確保のために、スクールガードリーダーとして1名委嘱をされております。</p> <p>しかしながら他の自治体では、それとは別にですね、別ですよ、子どもたちの安全と健全育成を目的にした、各学校においてスクールガードですね、スクールガードを数名町から委嘱をされているところがございます。これは新聞に記載されておりました。</p> <p>地域の子どもたちは地域で守り育てる、また、子どもたちを叱れる大人づくりの必要性、これが謳われておったわけでございます。</p> <p>昔は悪いことをしたら、叱ってくれる大人が地域におられました。子どもたちの健全育成に大いに貢献をされておったわけでございます。私も子どものころは元気がよかった関係で、よく叱られた1人でございます。そのときは怖かったけど、今は感謝をしております。</p> <p>担当課長にお聞きします。</p> <p>各自治体の活性は、各自治体住民の取り組みと協力、これが不可欠でございます。また、子どもの健全育成も同じように、地域力の協力また活用が大いに大切だと思っております。</p> <p>よその町村の取り組みもあります。この学区のガードリーダーの発足、これをさせていただきたいなと思っておりますが、見解を、答弁をお願いします。</p>
議長	教育課長
教育課長	<p>お答えいたします。</p> <p>スクールガードリーダーは元々学校の管理下におきます不審者侵入事件等が大きな社会問題となったことから、子どもたちが安心して教育を受けられるよう、地域と学校が連携した取り組みが一層必要となりまして、各小中学校に地域学校安全推進委員、すなわちスクールガードリーダーを派遣し、学校と、今議員が言われました地域ボランティアとのパイプ役として活動してもらうというもので、平成18年度から20年度まで、国が大体5校に1人程度の割合で配置をしまして、その経費をすべて賄っておりました。</p> <p>平成21年度からは、その経費を国と県が折半することになりましたが、県の予算措置ができないことで、町単独で配置し、現在に至っております。</p> <p>スクールガードリーダーは、町教育委員会が委嘱した防犯の専門家であり、主な任務といたしましては、小中学校の校内、校区の定期的な巡回や教職員や地域ボランティアに対する警備のポイント等についての具体的な指導、また各学校において、見守り活動の機能強化に向けたコーディネーターであります。</p> <p>議員が言われましたスクールガードでございます。町内各小学校には、地域の方やPTA、保護者等が通学路の巡回パトロールや危険箇所の監視を行う学校安全ボランティアとしておられます。</p> <p>この方々は各学校から防犯用の帽子やジャケット、腕章などを受け取り、児童・生徒の登下校の時間に合わせて、現場指導を行っていただいております。</p> <p>各学校とも、このような学校安全ボランティアの増員については、地域の協力要請を積極的に行っておりまして、議員申されますように、各学校単位で登録制を設けて、ぜひ登録者を多くしていくということで考えているところでございます。以上です。</p>

議 長	久保議員
久保議員	<p>交通指導員とかですね、私は少年補導員をしておりますけれども、やはり私服で行くよりも制服を着て、帽子をかぶって指導すればですね、抑止力、指導力が高まります。今、前向きに取り組むということで、ご理解していいんですね。</p> <p>町長にお聞きします。</p> <p>報酬はなくてもですね、協力してくれる意欲のある方はおられます。委嘱状を持ってですね、制服と帽子、これを持って指導していただくと、指導力、抑止力、これが強めることができます。一般の私服じゃだめなんです。</p> <p>必ずや町の宝である子どもたちの安全と健全育成、これに寄与されるものと確信をしておりますが、このガードリーダーの発足、町長としての見解をお聞かせください。</p>
議 長	田頭町長
町 長	<p>今、教育課長が申しあげましたように、十分教育委員会と連携をとってですね、議員が申されます趣旨はよく理解できるところでございます。他の組織とのバランス等々を考えながら、検討していきたいと思っております。以上でございます。</p>
議 長	久保議員
久保議員	<p>ぜひですね、先進地等の調査研究もされてですね、スクールガードの発足、ぜひお願いしたいと思います。</p> <p>次に、電力確保について、質問をいたします。</p> <p>昨年の3月11日に発生いたしました東日本での大地震の影響で、福島第一原発事故が発生しました。原子力発電への信頼が崩壊をしたわけでございます。</p> <p>大飯原発の7月再稼働の話はあっておりますが、その他の原発は全部休止状態であります。今、国全体が電力不足に悩まされておるわけでございます。</p> <p>そういう中で、福岡県はですね、県機関での14%以上の節電対策方針、また、企業や全市町村に対し10%以上の節電の協力要請、これを求めています。</p> <p>6月の筑前広報にもですね、役場としては、昨年度は11.5%の節電に成功したと。または家庭での節電のポイント、4項目にわたり詳しく説明がしてありました。また、緑のカーテンのコンテスト、これも企画されるなどですね、節電に対する啓発を町としてしっかりされておると確認したわけでございます。</p> <p>しかしながら、新聞等を見ておりますと、さらなる節電に対し、住民の協力を得るためにですね、いろんなことを、アイデアを出されております。</p> <p>各家庭で節電コンテストを企画、優秀者にはポイントカードを差し上げるとかですね、家庭でのエアコンやテレビ、これの節電を目的として、電力使用時の午後1時から5時の間、商店街や飲食店に出向けば、商店街や飲食店で使用できる割引券、これを作成するとかですね、いろいろアイデアを出されておりますが、筑前町でもこういうことができないかなと、アイデアがないものかなと思っておりますが、担当課長、ご答弁をお願いします。</p>
議 長	環境防災課長
環境防災課長	<p>お答えいたします。</p> <p>議員が紹介されましたように、他町村でもいろいろなアイデアが出ておるようでございます。環境防災課のほうといたしましても、今後インターネット、いろいろな市町村等への問い合わせ、そういったものを行いながら、いろいろと調査研究をしていきたいと、このように考えております。以上です。</p>
議 長	久保議員
久保議員	<p>これは、町長にお聞きしたいと思っております。</p> <p>これは、地元特産品ということが入っておりますので、町長にお聞きします。</p> <p>2日前の新聞ですね、糸島市で節電が去年より10%達成された家庭、また事業者、</p>

	<p>これは650人を対象に、抽選で地元特産品をプレゼントすると、こういう記事が記載されておりました。若干経費はかかりますがですね、住民が楽しみながら節電に取り組む、これはいいアイデアだなと感心をしたわけでございます。</p> <p>このような節電に対するアイデア、取り組み、これを町長としてどのような見解を持ってありますでしょうか、お願い申し上げます。</p>
議 長	田頭町長
町 長	<p>お答えいたします。</p> <p>まさに糸島市の取り組みもアイデアだと思います。評価するところでございます。</p> <p>ただ、こういったアイデアは様々に起こり得ると思っております。</p> <p>実は先週ですね、私のところに83歳の高齢の男性が面会に見えました。その方はソーラーシステムを設置したと、そのことによって、毎月々ですね、これだけの電気料金が入金されましたという一覧表を、私に提示していただきました。</p> <p>83歳の高齢者にとって、収入があるということは非常に魅力なんだと。そして毎日の天気がこんなに気になるんだということで、張りができたということでございます。</p> <p>その家庭に私も一昨日訪ねてみました。本当に一人暮らしでございました。その中で、本当に月々ですね、5万とか多いときは10万でございまして。そういった金が入ってくるということでですね、非常に助かると。</p> <p>さらに増設をしたいということで、見積書まで私見せていただきましたんですけども。初期投資がお金がかかるでしょうと、話しましたらですね、それはかかっても、やはり今は金利が安いからと。そういったことで投資をすることによって、毎月々のお金が入ってくるということでですね、非常に魅力だと。</p> <p>そしてなおかつ、7月からまた料金が上がるということで、非常楽しみにしておられます。ぜひ町長も、こういった政策について、ひとつ考えてみたらというような提言でございました。非常に参考させていただきたいと思ったところでございます。</p> <p>その方も家に行きますと、きちっとグリーンカーテンがしておられました。</p> <p>そのようにですね、高齢者の方でも、仕事はできないけれども、そういったビジネスができるということでございます。</p> <p>今からエネルギーはビジネスだとも思っております。大企業ももちろんこれに参入してまいりますけれども、コミュニティもできますし、個人でもできると。そういった視点で、このエネルギーは捉えていくべきだと。</p> <p>これは、米の生産調整ではございません。作れば生産調整しなければならないものではございませんで、作れば作っただけ社会貢献ができるわけでございます。</p> <p>そういった視点で、エネルギーは多方面から取り組むべきだと、私の見解でございます。以上でございます。</p>
議 長	久保議員
久保議員	<p>83歳のお年寄りが太陽光発電を設置されて、高い経費でございます。費用対効果を考えると、この月々の5万、8万は魅力がありますけど、これは敬意を表するところでございます。</p> <p>経費のかからない方法もいっぱいあります。緑のカーテンもしかり、これを啓発して種を渡すとかですね、プランターに入れてお配りするとか、そういうこともあります。</p> <p>また、アイデアとして、敬老館やめくば一館、エアコンが入っております。これは切るわけにはいきません。せつかくエアコンが効いている、そういうふうなめくば一館やら敬老館、ここにですね、住民の方々をですね、日中の暑い時間帯に涼んでいただく、そのときには入館料の100円を取るかどうか、この辺は企画性だと思ひ</p>

	<p>ますけど。こういう案も私は大事じゃないかな。</p> <p>今ある施設を利用して、住民に対して節電をお願いすると。ぜひですね、こういうアイデアもぜひ作っていただきたい。図書館も涼しいからですね、どんどん図書館に来てくださいということで、家庭のエアコン代や電気代が節約できます。</p> <p>そのようなあらゆる節電対策をですね、行政としてできる努力をですね、どんどん出していただきたいなど、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>次に、ミニ水力発電について、質問いたします。</p> <p>合併前ですね、夜須議会で三箇山での風力発電について、質問が出されておりました。そのときの答弁としては、年間風力が採算ベースに合わないということでの答弁でした。</p> <p>時代も変わりました、先ごろ九州大学で開発されましたレンズ風車というのがあります。少ない風、わずかな風でも風車がまわ、発電が可能だということで、今なら三箇山でも、この風力発電の可能性があるのかなと思うわけでございます。</p> <p>本題に戻りますけど、今ですね、原子力発電の停止による電力不足を補うために、全国的に自然エネルギーの活用、これが注目されております。</p> <p>日が差すところは太陽光発電、風があるところは風力発電、温泉が出るところは地熱発電、海峡で流れが速いところは水中水力発電、川や小川があるところはミニ水力発電、これをですね、国、県、企業はしっかりと取り組んであります。</p> <p>担当課長にお聞き申し上げます。</p> <p>筑前町もですね、モデル地区として、曾根田川とかですね、曾根田川は親水公園がありますね。とか、黒岩のうなぎ昇りの滝ですかね、あの辺がありますね。</p> <p>そういうところに水力発電装置、ミニですね、できないのかなと、こういう企画ができないのかなということで、答弁をお願い申し上げます。</p>
議長	環境防災課長
環境防災課長	<p>お答えいたします。</p> <p>ミニ水力発電それからマイクロ水力発電、これは一般的な名称みたいでございませけれども、昔から存在しますけれども、最近の省エネが叫ばれる中でも、なかなか普及してないと。</p> <p>環境防災課のほうでも、なぜだろうということで、いろいろ調査をいたしました。その結果、水利権の問題とか、それから経済性、費用対効果ですね、それから、自然保護との兼ね合い、これは、逆にそういったものを自然環境が美しいところ、そういったところにそういった器具、そういったものを付けるというのは、逆に環境破壊になるという考え方もいらっしゃる。</p> <p>それから大雨時には、河川や水路の障害物となり得ると。いろいろな実効性の問題、そのような課題があるのが実情のようでございます。</p> <p>しかしながら、議員申されますように、今後も電力確保という観点から、当然、先ほど議員が申されましたレンズ風車ですかね、このような技術革新もあっておるようでございますので、検討の対象として捉えていきたいと、このように考えております。以上です。</p>
議長	久保議員
久保議員	<p>これも新聞なんですけど、鹿児島県では、県全体で40カ所の用水路にですね、ミニ水力発電所の建設、これに乗り出すというのが書いてありました。</p> <p>財源も費用対効果も考える必要がありますけれども、検討する価値はあるのかなと。ぜひですね、鹿児島県での、これは小川ですよ、用水路ですよ、大きな川じゃありません。</p> <p>そして、このミニ水力発電装置はですね、環境破壊もしないような大きさであって、</p>

	<p>大雨のときにはパッと上げれるとかですね、そういう対応はされておるようでございます。ぜひ1回調査研究をしてください。お願い申し上げます。</p> <p>次に、町の活性について、質問をいたします。</p> <p>先日、三箇山のやすらぎ荘周辺での桜の植樹がございました。私もですね、仲間と一緒に参加をさせていただいたわけでございます。</p> <p>三箇山では、以前から桜の木が植樹されております。高地ということで、平地よりも10日ほど遅いんですね、開花期がね。季節はずれの花見ができるということで、多くの方が花見に見えております。</p> <p>今回植樹した桜がですね、また立派な花を咲かしてくれる、この時が楽しみにしております。</p> <p>元々三箇山地区はやすらぎ荘、国立少年自然の家、県立記念の森公園とかですね、多くの方が集まる観光地でございます。</p> <p>しかし、本格的な観光地にするためには、四季を通した観光資源、これが必要でございます。これは、私の感じるところでございますけど、桜や公園はありましても、秋の紅葉が少ない。</p> <p>ここから三箇山の頂上まで車でまいますと、私の記憶では、途中の登り口から行けば、右側に2本ぐらいの楓の木があります。すごく紅葉したときにはきれいでございます。</p> <p>そういうことで、担当課長にお聞き申し上げます。ぜひ、三箇山の山道にもみじの植樹、これをするべきだと、私は思います。そうすれば春夏秋冬の冬はですね、雪が降ったときには上れませんけど、春夏秋の観光資源になるとは思いますけど、ご答弁をお願いします。</p>
議 長	企画課長
企画課長	<p>私からお答え申し上げます。</p> <p>夜須高原の観光振興策として、もみじ植樹のご提案をいただきました。意義ある提案と受け止めております。</p> <p>ただ、自然景観を人工的につくるというご提案でございますので、どこに植樹するのかと、今、散策路と申されましたけれども、どこに植樹するのか、また、どの程度の規模にするのか、いろいろな課題がございますので、ご提案が適当なのかどうか、今後におきまして研究をしてまいりたいと考えております。以上でございます。</p>
議 長	久保議員
久保議員	<p>今、研究と言われましたね、やるとは言ってないですね。</p> <p>町長にお聞き申し上げます。</p> <p>町の観光資源としてですね、また、みなみの里や大刀洗平和記念館の動員を図る、そういう目的でもですね、この三箇山の観光化というのは、私は著しいものがあるんじゃないかなと思います。</p> <p>ぜひ三箇山にですね、秋のもみじを植樹されて、そして町の活性に繋げる、こういうことはもう、私は言葉で言えば「火を見るよりも明らか」じゃないけど、ぜひ実行していただきたいと思いますが、町長、見解をお聞かせください。</p>
議 長	田頭町長
町 長	<p>お答えいたします。</p> <p>今、夜須高原には人が来ているんです。間違いなく。</p> <p>記念の森には年間16万人来ています。少年自然の家にも12万ぐらい来ています。人は来ているんですけども、町のほうの受け皿としてですね、あるいは商工業者の受け皿として、活性化に繋げてきてないと、私はそれが現状だと思っております。</p> <p>何十万も来ている人たちがですね、もっともっと経済効果に結び付けるような、地</p>

	<p>域活性化に結び付けるような手立てをもう少し考えるのが、私は筋だろうと思っております。その1つの手法がみなみの里でもございました。</p> <p>ですから、直売所でございますけれども、観光的な施設になり得ると、そのように考えております。</p> <p>今、春と秋は駐車場もないくらいの記念の森一带の入り込み状況でございます。むしろそういった方向からすればですね、確かに自然にススキが一带に並んで、ものの見方は様々でございます。筑前町の町の木は桜でございます。花は藤ということで、鶯ということでですね、やはりそれが見えるのも確かに夜須高原でもございますし、そのことを活かすことも1つの手法だと思っております。</p> <p>もみじもですね、すばらしい秋を象徴するような樹木ではございますが、どのような植栽をするのか十分検討しながら、それと1つの反省点といたしまして、桜が植えておりますけれども、様々な桜をあまりにも植え過ぎでございまして、統一美と申しますか、そういったものに欠けるということも事実だと思っております。</p> <p>そういったことも含めまして、植栽等については検討が必要だろうと思っております。</p> <p>それと忘れてはならないのは、自生しておりますねむの木でございます。こういったことも大切にしなければならぬと、そのように考えます。</p>
<p>議 長</p>	<p>久保議員</p>
<p>久保議員</p>	<p>ありのままの自然というのも大切でございます。</p> <p>しかしながら、所々にですね、ヤマザクラは所々に咲いてきれいだなと思うときがあります。</p> <p>もみじもですね、あまりにも人工的では違和感がございますけど、若干ですね、所々に紅いもみじがあれば、また、観光のですね、お出でになる対象が変わります。</p> <p>今、記念の森公園とか国立青少年自然の家、これは、子どもさんたちの遊び場とか勉強の場であって、買い物をするとか、そういうふうなルートではないんですね。</p> <p>だから、一般の方が、お年寄りとか、一般の方が行かれた場合はですね、下りて来てファーマーズマーケット、平和記念館とかに行かれる客層が変わります。</p> <p>そういう意味でも観光資源として、ぜひもみじの植樹をしていただきたい、このように思います。よろしく前向きにお願い申し上げます。</p> <p>次に、行政としての企画力を高めてほしいということで、質問をさせていただきます。</p> <p>最近、新聞を見ておりますと、いろんなアイデアがですね、町の活性に対して載っております。</p> <p>例えば、農林水産課、これはどここととは言いませんけど、農林水産課の職員がですね、自分の町でとれた米をローマ法王に試食してもらったと。そして販路を開拓したとのこと、すばらしいことでございます。</p> <p>近隣でございますけど、大刀洗町ではですね、「定期健診を受けましょう」という文字が書かれたTシャツを職員が着て、受診率の向上に努めている。これもいいアイデアでございます。</p> <p>また、職員2人が担当になって、魅力あるホームページ作り、これに奮闘していると。日々変わる情報を書き込んでですね、町の活性に貢献している。これもすばらしい、やる気のある職員、できる職員の紹介、これがされておりました。</p> <p>これもまた最近の話です。これも新聞に記載されておりました。</p> <p>休耕地を活用した田植えツアーの企画です。年間5千円の会費で、田植え体験そして収穫体験、そのときの帰りには、地元の温泉での入浴サービス、最後にはお米10キロが貰える。すばらしい企画でございます。</p> <p>うちにも温泉があります。田んぼもあります。休耕地もあります。</p>

	<p>これは参加者が抽選になるぐらいの大盛況ということで、担当課長にお聞き申し上げます。</p> <p>筑前町も休耕地が目立ちます。荒廃地の抑止や町の活性、観光資源としてですね、ぜひこの田植えツアーを企画してもらいたい、答弁をお願いします。</p>
議 長	農林商工課長
農林商工課長	<p>お答えいたします。</p> <p>確かによその市町村でも、そういった田植えツアーとか進んでいることは、私どもも伺っております。</p> <p>私どものほうとしましては、今現在、町独自ではないんですけども、県とそれから筑前町、朝倉市、東峰村、観光協会等と一緒にタイアップをしまして、当然町は企画課も一緒でございます。広域地域連携プロジェクトというのを取り組んでおります。</p> <p>その中で、やはり田植えとかですね、それから柿狩りも梨狩りもそうですけど、いろんな農作業の体験とか、それからお野菜の植え付け、そういったものも含めまして、総合的にいろんな体験ができるような、歴史的な面とかですね、また観光な面それから農業、いろんなものを含めたツアーを、今プロジェクトを組んで、活性化に向けて何か活用できないかということで、検討しているところです。</p> <p>今度、次回モニターツアーというのがございまして、やはり福岡から、都市部から小学生を30人お呼びしまして、それが確か8千円かなんかだったんですけど、今回は黒川地区で行われるんですが、第2回の秋のときにはですね、うちの町のほうでも何かできないかということで、今、広報を出させていただいているところです。</p> <p>そういった近隣の施設とか団体とかと協力をしながら、当然、筑前町のみなみの里、平和記念館、そういったものも全部一緒に協力をさせていただいて、何らか活用する方法がないかということで、今検討させていただいております。</p> <p>あくまでも休耕地ですので、農地として活用する必要がありますので、その辺も頭に入れた上で、検討を重ねていきたいと思っております。以上でございます。</p>
議 長	久保議員、時間が迫っております、簡潔に。
久保議員	<p>ぜひですね、荒廃地の抑止や町の活性化にですね、企画を実行していただきたいと。特に田植えツアー、やってあるところの調査研究をしていただきたいと思います。</p> <p>町の活性は、職員のやる気と企画力にかかっております。少ない予算で最大の効果を出すためのアイデア、こういうものを職員がどんどん出していただきたい。</p> <p>そのためには、田頭町政のトップリーダーとして、町長に、職員のやる気づくりにご尽力を、ぜひいただきたいと思います。</p> <p>以上で、私の一般質問を終わります。</p>
議 長	これにて、8番 久保大六議員の一般質問を終了します。
休 憩	
議 長	<p>ここで、休憩をいたします。</p> <p>10時40分から再開いたします。</p> <p style="text-align: right;">(10:32)</p>
再 開	
議 長	<p>休憩前に引き続き、一般質問を行います。</p> <p style="text-align: right;">(10:40)</p>
議 長	10番 梅田美代子議員
梅田議員	<p>通告に従いまして、質問をいたします。</p> <p>まず、町有施設について、でございます。</p> <p>町営住宅の入・退去について、質問をいたします。</p>

	<p>町営住宅は高齢者、障害者また母子家庭等の低所得者等々、住宅困窮者に住宅を提供するという福祉的なものというふうに理解をしております。</p> <p>住宅に空きが発生した場合、公募がされておりまして、私も選考委員の一委員として選考に当たらせていただいた経緯があります。</p> <p>応募された方、それぞれの家庭状況を見ますと、個人的には全員を入居させてあげたいというような気持ちになりましたが、2軒の空き室に対して、たいへん多くの方が応募されておりまして、残念ながらそうはいかない状況にあります。</p> <p>まず、入居の要件、条件、そして過去5年間の応募者の推移、倍率をお尋ねをいたします。</p>
議長	都市計画課長
都市計画課長	<p>お答えいたします。</p> <p>町営住宅の入居につきましては、町営住宅、今、町議がおっしゃられましたように、住宅に困窮しておるといことが条件でございまして、入居の条件といたしましては同居親族があるということ、それから収入が基準以下であるということ、それと一番大事なことでございますけれども、現に住宅に困窮しておるといことが、この3件が重要な要件でございます。</p> <p>それから募集ですね、過去5年間ということ想定しておりましたんですが、過去5年間でですね、19年から23年ですけれども、空き家発生に伴いまして、8回応募を行っております。</p> <p>応募をした団地は新太刀洗団地、それから新町団地、それぞれ4回ずつです。</p> <p>最低倍率は、平成23年の12月に募集したときが、応募者数が13人、そして募集したのが3戸ということで、4.3倍でした。</p> <p>一番多かったのが、平成19年の11月に募集した分で、新太刀洗団地です。応募者数が30人に対しまして、募集したのが2戸ということで15倍。</p> <p>平均いたしますと、募集が20戸に対しまして160人の応募があつておりまして、平均12.5倍という結果でございました。</p>
議長	梅田議員
梅田議員	<p>なかなか倍率も高くですね、入居が思うようにいかない、応募した方たちが、そういう状況というのが分かります。</p> <p>次に、既存の入居者の入居期間、最高で何年、そして短い方で何年、平均どのくらいなのかということ。それともう一つ、これは家賃なんですけど、最高でおいくら払ってらっしゃって、一番低い方でおいくらなのか、平均がおいくらなのかということをお尋ねをいたします。</p>
議長	都市計画課長
都市計画課長	<p>お答えいたします。</p> <p>入居期間の最高と一番短い方、最長最短ですけれども。</p> <p>三輪地区につきましては、先ほど申し上げましたように、空き家の申し込みがあつておりますので、平成24年の2月に入った方がいらっしゃいますので、数カ月ということなんです。</p> <p>最長で、引き継ぎがあつたわけですがけれども、柿添団地から新町団地に移られた方で、昭和37年から入っておられまして、50年という方がいらっしゃいます。</p> <p>それから、夜須地区につきましては、建替えを計画いたしておりますので、17年の8月以降には入っておられませんので、最低で7年ということなんです。</p> <p>それから、最長では昭和38年5月から入っておられる方が49年ということでございます。ちなみに平均でございますと、23年から24年ということになっております。</p>

	<p>それから、家賃ですけれども、一番低い階層の家賃で2,600円、これは福島団地、37年建ての分でございます。</p> <p>それから、一番高い家賃につきましては、新太刀洗団地、平成16年に建てた4階建ての床面積が75.2㎡の分でございまして、この方につきましては、収入超過者ということで、割り増しがかかっているわけですが、72,400円ということでございます。</p> <p>平均家賃でございますけれども、全調定額を入居者で除した数字で計算をいたしましたら18,421円ということでございます。以上です。</p>
議長	梅田議員
梅田議員	<p>最長で50年、半世紀町営住宅を利用して生活をなさっている方がいらっしゃるということでもあります。</p> <p>1つ気になったのは72,400円、最高支払われている方、これが、収入超過で、割増料金でこうなっているということなんです。</p> <p>これは、こういうことが可能なのか、収入超過で割り増しを払えば、入居し続けることができるのかということを疑問に思うわけですが、その点について、再度説明を求めたいと思います。</p> <p>それと住宅困窮者であっても、中には高額の前金等、また多額の所有財産がある方もいらっしゃるのかなというふうに思いますが、入居応募時に財産等についての調査と言いますか、そういう申告受付というのはあっているのか。</p> <p>それと既存入居者の入居後の所得等の調査、把握というものは行われているのか、お尋ねいたします。</p>
議長	都市計画課長
都市計画課長	<p>いくつもありましたものですから、抜けましたらまた言ってください。</p> <p>収入超過者につきましては、その旨の通知をいたしまして、勧告までしかできませんけれども、収入超過者については、退去の勧告のお知らせをしておるところでございます。</p> <p>それから、財産につきましてはですね、財産までは調査をいたしておりません。入居者の毎年の収入の調査はいたしておりますけれども。</p> <p>ただ、冒頭に申し上げましたようにですね、住宅に困窮しておることが入居の条件ですので、住宅に困窮しておるということで、申請があつておる分ですから、例えば他に家を持っておって、入られるという方等は当然ないということで、調査の段階で調べておるところでございます。</p> <p>入居後の所得につきましては、今現在、調査を行っておるわけですが、今、準備を進めておりますので、間もなく収入の調査を行います。</p> <p>その所得の階層に応じましてですね、当然、家賃が決定するわけですが、それの中で収入超過者、あるいは高額所得者ということになりましたら、それなりの対応をさせていただいておるところでございます。</p>
議長	梅田議員
梅田議員	<p>収入超過者については、勧告しかできないということですが。</p> <p>やはり、確かに住宅困窮者ではあるかもしれませんが、民間を利用するということは、当然できるわけでございますので、そういう方々に対して、そして入居後の所得調査におきまして、そういう方たちがおられた場合、速やかにその方たちに勧告をされると思いますが、受け入れてもらっておるのかどうなのか、現況をお尋ねいたします。</p>
議長	都市計画課長
都市計画課長	当然、収入超過者につきましては、入居が3年以降に3年間基準以上の所得があつ

	<p>た場合については、明け渡しの努力義務が発生します。</p> <p>高額所得者については、明け渡しの請求をするわけですがけれども、努力義務ですので、勧告までしかできないということでございます。</p>
議 長	梅田議員
梅田議員	<p>なかなか難しい部分があるのかなというか。</p> <p>だけど、やはり多くの方たちが、やはり困窮者の方たちが応募して入りたいと。何回も応募したけれども、入居することができなかったという声はたくさんあるわけですので、そういった方々に対しては、やはり理解していただいて、速やかに退去なりしていただくような、行政側の努力もぜひ必要じゃないかと思っておりますので、お願いしたいと思います。</p> <p>それと既存の入居者の入居中に、当初の入居家族、同居者以外の方が同居することが認められているのかという疑問があるわけです。</p> <p>既存入居者が死亡、退去の場合、後から同居していた人が、いわゆる後から入り込んだ人が、そのまま引き続き入居できるというふうなこともお聞きしたわけなんです。</p> <p>この件について、町民の方もたいへん疑問に思っておられます。どういう要件、条件の場合、こういったものが認められるのか。</p> <p>先ほども申し上げましたように、何回も応募して入居できない町民の方が大勢いられる中で、やはり町民は、こういうことはちょっとおかしいのではないかと、不公平ではないかというような不満、不信感をお持ちでございますので、その点を質問いたします。</p>
議 長	都市計画課長
都市計画課長	<p>お答えいたします。</p> <p>入居の当初についてはですね、先ほど申し上げましたように、同居親族があるとかいう、その条件がございまして、同居の適否判断については、入居の書類によって判断をしておるわけでございますけれども、その後の同居する者については、事業主体の承認を得ることが必要であるということになっております。</p> <p>町が同居を承認する場合におきましては、公営住宅法の趣旨、目的に鑑みまして、入居資格審査、公募を得て、新たに同居しようとする人とのバランス上、一定の場合に限って認定する必要があるといふふうに考えております。</p> <p>その基準が、同居の承認については、公営住宅法の27条の第5項及び規則の第10条、承継の承認につきましては、同法の27条第6項及び規則の第1条に規定されておまして、これをこの基準に基づきまして、同居及び承継の承認の手続きを行っておるところでございます。</p> <p>またそれと、その法または国土交通省令の他にですね、平成6年9月に住宅局の総務課長通知というのがございまして、そこで指針が示されております。</p> <p>その指針に従いまして、入居名義人の三親等内を限度として、入居収入基準以内、そしてかつ入居者に家賃滞納あるいは無断転貸などの、法令、条例等の明け渡し事由に該当しないことが要件として運用をしておるところでございます。</p> <p>承継の承認につきましても、同じような理由でございまして、原則として、入居名義人が死亡または離婚した場合において、承継事由発生時の入居名義人の同居親族としております。</p> <p>承継後の世帯の収入が、高額所得者の収入基準を超えないこと、かつ入居者に家賃滞納、無断転貸などの条例等の明け渡し事由に該当しないことが要件となります。</p> <p>ただし、入居開始時から承継事由発生日まで、引き続き入居している者及び配偶者以外の者につきましては、同居の期間が1年未満の者については認めないということ</p>

	で運用しておるところでございます。
議 長	梅田議員
梅田議員	<p>今、要件、条件について、縷々説明をしていただいたわけでありませうけれども、後から入り込んで来たという、この表現、あまり使いたくないんですが、入居してある方は、1年以上入居し続けておれば、先に、当初入居されてた方が退去、死亡しても入居をしつづけることができるという。</p> <p>そしてまた、諸々の条件はあったにしても、三親等の範囲内ということ、三親等ということは、私からいたしますとひ孫とかですね、叔父、叔母の配偶者とか甥、姪の配偶者とか、そういうところまで三親等というのはなるといふふうに思いますが、これが、公営住宅法に基づいてなされているわけでありませうので、如何ともし難いようなところもあるといふのは重々承知しておりますけれども、考え方によっては、これをうまくやれば、同一親族が半永久的にと言いますか、住み続けることができるのではないかといふふうにも捉えることができるわけなんです。</p> <p>やはり先ほどからたびたび申しておりますように、多くの住民の方が入居したいと思っておりますので、公平公正さからみた場合、この不公平感が払しょくできないような状況でもあります。</p> <p>上位法がございますので、なかなか難しいとは思いますが、この点を、何か対処法があるのか、ないのか、できないのかということをお尋ねいたします。</p>
議 長	都市計画課長
都市計画課長	<p>同居につきましては、事業主体の承認を受けなければならないということで、国土交通省令の定めるところにより、同居を認めなければ、事業主体の承認を受けなければならないということになっておるわけです。</p> <p>その国土省令がですね、次の者については認めてはいけないということになっておりまして、それ以外の者については、認めざるを得ないということです。</p> <p>継承の場合もですね、法が定めておりますのは、当該公営住宅に引き続き入居ができると。国土交通省令で定めておりますのは、次の者については認めてはならないと。そういうふうな書き方でございますので、今のような取り扱いを行っておるわけでございます。</p> <p>併せて、平成6年9月に出されました住宅局の総務課長通知に基づきましてですね、三親等以内ということ、それから所得が基準を超えないということ、それから、入居者に家賃とか無断転貸とかの法的な退去事由が発生しないということ、これを満たしておればですね、認めざるを得ないということになっております。</p> <p>それから、その他にもですね、入居者が病気等でですね、当然、介護が必要な場合とかですね、あった場合については、三親等以外であってもですね、町長は認めることができるということにもなっておりますことも付け加えておきます。</p>
議 長	梅田議員
梅田議員	<p>とにかくいろいろ難しい部分、あるといふふうなことは分かりました。</p> <p>町民の期待に応えまして、夜須の町営住宅もやっと建設の運びとなりました。そういうことで、今後町民の方がですね、なるべく多く入居できますように、この夜須地区の町営住宅が速やかに建替え実現できますことを、その点しっかり努力していただきますことをお願いして、この質問を終わらせていただきます。</p> <p>次に、町営駐車場の運営について、でございます。</p> <p>福銀裏と旧夜須議場跡の駐車場についてなんですが、以前の議会質問の折に久保議員から質問がされておりました。</p> <p>しかしながらその後、度々、最近もですが、町民の方からは満車で止める場所がないという訴えが私の元にあります。</p>

	先の議会質問がどのように改善、対応されたのか、伺います。
議長	財政課長
財政課長	<p>お答えいたします。</p> <p>昨年の12月の議会のときにですね、久保議員から不法駐車のご質問がございました。</p> <p>その中で、長期の不法車両と言いますか、その車両の件で質問があつておつたようでございますが、その時点で2台の不法駐車と言いますか、不法された駐車された車両があつたと。</p> <p>1台が普通自動車、1台が軽自動車ということで、そのことにつきましては、その後、車両の所有者をですね、戸籍等の照会を行いながら、住所を突き止めまして、一応撤去をしていただいたということで、普通車については年末に、それから軽自動車につきましては1月にということで、撤去が終わっております。</p> <p>現時点では、そういった長期の不法されておる車両はないと、そういう状態でございます。以上でございます。</p>
議長	梅田議員
梅田議員	<p>実は、今言いました福銀裏と旧議場跡、ここに看板が設置されております。</p> <p>この看板を見ますと、「駐車場を利用される方へ、この駐車場は役場コスモスプラザを利用される方のための駐車場です。」とあります。「通勤、通学等役場に御用のない方の駐車やスケートボードやローラースケート等を使っての遊戯等のご遠慮ください。なお、駐車場内での事故や盗難等については一切責任を負いません。利用時間午前8時から午後7時まで。筑前町役場。」こういう看板であります。</p> <p>看板に書かれているこの内容からいたしますと、この駐車場は役場とコスモスプラザを利用される方のための駐車場というふうになっておりますが、利用される町民の認識、現実には、明らかに福岡銀行を利用するための駐車場というふうに認識されていると思います。</p> <p>よほどのことがない限りですね、役場、コスモスプラザを利用する人が、この駐車場に止めるかということは、まずはないんじゃないかと考えられます。</p> <p>ところで、駐車場利用者は、通勤のための役場職員と福銀を利用する人が、先ほど言いましたように、ほとんどと考えられるわけです。</p> <p>役場職員、臨職、嘱託職員等ほとんど現状車通勤だと思っておりますが、実態を伺います。何人の職員の方が車通勤なさっておるのか。それとまた、役場周辺ですね、今言いました、福銀裏、議場跡地、コスモスもすべて網羅して、駐車台数可能が何台あるのか、それと特に、福銀裏、旧議場跡地、駐車可能台数は何台で、そこに職員が何台止めておられるのか、また、福岡銀行の職員はそこに止めておられるのかどうかをお尋ねします。</p>
議長	財政課長
財政課長	<p>質問の項目が何点かございましたけれども、覚えている範囲でお答えして、忘れておる分については、またお尋ねさせていただきたいと思いますが。</p> <p>まず、駐車場の総数、それについてお答えを申し上げたいと思います。</p> <p>まず本庁舎それからコスモスプラザ、その敷地内、それから、それに付随します近くのですね、福銀の裏、元の議場の跡、それから庁舎西側の道を隔てたところの一画、そういった部分全体で駐車可能スペースは345台でございます。</p> <p>その内に福銀の裏の駐車場が、35台駐車ができる。それから、元議場の跡、ここが前22台と私把握しておりましたですけれども、32台駐車できるようでございます。</p> <p>それから、車で来ておる職員と言いますか、そのことをお尋ねされたと思っております。</p>

	<p>れども。本庁舎に来ておる職員の中で、車等を利用しておる者が90名おるようでございます。</p> <p>それから、臨時、嘱託職員31名、合計で121名になるようでございます。</p> <p>それから、福銀の職員の方が止めてあるかどうかということにつきましては、そこまで調査はいたしておりません。</p> <p>以上であったかと思えます。以上でございます。</p>
議長	梅田議員
梅田議員	<p>全員で121人の職員、町関係者が止めてあるということで、特に、福銀裏、旧議場跡地には、何人の職員の方が止めてありますか。</p>
議長	財政課長
財政課長	<p>日によって違いますけれども、大体20台、20名の職員ということでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
議長	梅田議員
梅田議員	<p>役場と福銀、先ほどの福銀裏と旧議場跡なんですけど、これが、役場、福銀が暗黙の了解と言えるのかどうか分かりませんが、そういった状況の中で、今、福銀利用者が駐車場を利用されているというのが、現実ではないかなと思っております。</p> <p>これは、ほとんどが住民の方であるというふうに理解できるんじゃないかなと思っておりますので、それとまた、職員の駐車場の確保ということは、当然、必要にもなるのかなというふうには思いますが。</p> <p>しかしながら、その前にですね、やっぱり住民の側に立った対策と言いますか、安全、安心と利便性から考えたときに、何とかあそこを改善する必要があるのではないかなというふうに考えます。</p> <p>特に、私も金曜日とか月曜日とか見らせていただいたんですが、386国道側から、そして役場のほうから、松沢薬局のほうからと、とにかく次々とひっきりなしに車が進入してきておまして、駐車場が満車のためにですね、あの周辺をぐるぐる、ぐるぐる回っております。</p> <p>いよいよ止めるところがない、歩道の上にも悠々と何台もが止まっておまして、そこも止めたらいけないんですが、止める場所がないということで、どうしようもない方が、こちらの庁舎前の駐車場を利用されるというような状況でございます。</p> <p>本当に今まで事故が起きなかったことが不思議なくらいだなというふうに、住民の方もおっしゃっておりますし、事故が発生してからでは遅すぎます。また、歩道の破損と言いますか、にも繋がるんじゃないかなと思えます。広い立派な歩道がありますけれども。</p> <p>そういったことを見たときに、改善がこれは必要じゃないかなと思えますが、どのようにお考えでしょうか。</p>
議長	財政課長
財政課長	<p>お答えいたします。</p> <p>1つの金融機関を利用されることについて、本当はあそこに掲示しておりますように、本庁あるいはコスモスプラザ利用ということが基本であろうかと思えますけれども。</p> <p>銀行等の利用についても、そんなに長い時間ではございませんので、その部分については、そんなに厳しくですね、すべきことかなという気持ちは持っております。</p> <p>それと、やはりそうじゃなくて、通勤、通学、特に通勤だろうと思えますけれども、そういった車両のですね、調査をしてみたいというふうに思っております。</p> <p>例えば9時にナンバーのチェックをさせていただいて、また、午後した場合に、同一の場所に同一の車両があるかないか、そういったことによって、銀行にそんなに時</p>

	<p>間がかかるものでもないでしょうし、買い物にしても、近くのスーパーと言っても、それぞれスーパー等には駐車場もございますから、そういった確認をさせていただきたいと思います。</p> <p>なにせ福銀裏、先ほども申しあげましたように、35台から駐車できるわけでございますから、そういった調査をまずさせていただきたいというふうに考えております。以上でございます。</p>
議 長	梅田議員
梅田議員	<p>あえて私から、こうしてください、ああしてくださいということは申し上げませんので、しっかり今後の改善をしていただくことに期待を申し上げたいと思います。</p> <p>それともう1つ、甚だ言いにくいことではございますが、町民の代弁者としてあえて申し上げさせていただきます。</p> <p>町民から、職員が役場の駐車場に止めることに対してですね、駐車料金を徴収してもいいのではないかというような声もあるわけです。</p> <p>当然、都市部の自治体と、この筑前町というのは、環境的に違うわけで、同列で考えることはできないとは思いますが、一応、この声に対して、どう受け止められるのか、町長にご見解をお伺いいたします。</p>
議 長	田頭町長
町 長	<p>お答えいたします。</p> <p>議員申されますように、都心部の自治体ではですね、有料であったり、県庁においては特定の職員だけに、ハンディを持っている人とか、そういった方々には無料で駐車させるとか、特別金を与えているとか様々でございます。</p> <p>筑前町におきましても、そこに駐車しておりますのは、一般職員もおりますけれども、非常勤それから臨時職員等々も駐車しているわけでございます。</p> <p>筑前町の交通事情等々から見ればですね、やはり通勤は車であるのが大半であることも実態でございます。</p> <p>あくまで公共車、本当に役場あるいは銀行等を利用される方ですね、障害にならないような工夫をしながらですね、現段階では駐車を認めていくべきではないかというふうな見解でございます。</p> <p>具体的に申しますと、役場の駐車の中においても、一番玄関に近いところについては、職員の駐車を禁止しております。できるだけ役場内の駐車においても、玄関等々から近いところは駐車をしないと。私もちょっと少し近いところには止めておりますけれども、そういったことは職員に徹底させながら、もしさらに住民の方の利用がですね、さらに多くなるということであれば、また別途考えなければいけないと、そのように考えます。以上でございます。</p>
議 長	梅田議員
梅田議員	<p>このことについては、どのように改善、取り組みがなされるかということを見守りたいと思いますし、また、引き続き質問をすることになるかもしれませんので、ご承知置きください。</p> <p>次に、子育て支援について、お伺いをいたします。</p> <p>まず1点目、雇用形態や家族構成の変化に伴い、保育所では対応できない家庭の支援について、でございます。</p> <p>筑前町では、3カ所の認可保育所がありまして、来年度はまた新たに民間保育所が開所予定であります。待機児童が危惧される状況の中で、歓迎すべきことであると評価いたします。</p> <p>保育所では、夜が7時まで延長保育されておりますし、保護者のニーズに応える施策が実施されております。また、他にあかちゃんの駅、子育て支援センター「たんぼ</p>

	<p>ぼ」、「あいあい」、「どんぐり」が設置されるなど、幅広い視点から筑前町では子育て支援がされているということは、評価をいたしております。</p> <p>しかしながら、冒頭申し上げました現在の雇用形態、夫婦とも三交代であったりとか、遅い時間まで働かざるを得ない会社に勤めている、サービス業であれば土日は休めないとか、いろいろ変化しております、ましてや定期低迷の中において、共働き家庭は増加傾向にありますし、専業主婦の方でも夫の帰宅が遅くて、1人で子育てを担っているという状況もございます。</p> <p>家族構成も核家族化が進んでおまして、子育て家庭への若い夫婦への負担は大きくなっておると言わざるを得ません。</p> <p>保育所は残念ながら早朝、夜間、緊急時の、そしてまたお泊り保育ということでは対応できません。</p> <p>お尋ねしますが、今、立派な町政要覧のDVDができておまして、あれを見ればすばらしい町だなというふうに思った次第ですが。</p> <p>そこで、ショートステイ、トワイライトステイというのが紹介されておりました。緊急時の子どもの預かりをやっているということなのですが、具体的に、どこでどのように行われているのか、そして、年間何件くらいこういう支援が行われているのか、お尋ねいたします。</p>
議 長	こども課長
こども課長	<p>お答えいたします。</p> <p>ショートステイ、トワイライトステイにつきましては、今、議員からのご質問のようにですね、休日や夜間でですね、急に家族内で子どもの養育、保護ができなくなった場合ということを想定しまして、事業名としましては、子育て短期支援利用事業としまして、短期の宿泊を伴います短期入所生活援助事業、いわゆるショートステイでございます。</p> <p>それと概ね夜の10時ぐらいまでお子様をお預かりする夜間養護等事業、いわゆるトワイライトステイという2つの事業がございまして、この2つの事業とも児童養護施設と委託契約を結びまして、必要のときの受け入れをお願いして対応しているところでございます。</p> <p>利用者数につきましては、過去4年分については、町が措置した案件はございません。ただし、非常に困難な事例、あるいは緊急事例の場合につきましては、児童相談所の措置により、利用した回数が2件ほどあるというふうに聞いております。以上でございます。</p>
議 長	梅田議員
梅田議員	<p>根本的解決にはですね、今言われておりますワークライフバランスと言われるように、女性、男性にかかわらず、仕事と子育て等の家庭生活の両立ができるように、企業なり社会なり、全体が仕組みを変える社会変革が重要であるということは、十分承知しておりますが、いろいろな課題、そういうふうで、ショートステイ、トワイライトステイが必要な方に対してはですね、町として、やはり目の前で苦しんでいる人たちがおられる以上は、手を差し伸べてあげなければいけないと思います。</p> <p>ということで、じゃあ果たしてこういったショートステイ、トワイライトステイ等があるということの実情、存在をご存じのない方もおられるのじゃないかなというふうに思います。</p> <p>やはり何かある場合、早めに気軽にこども課なり所管課にご相談に行ってくださいということが、また、不安を取り除いて、子どももそういうところで安心して過ごすことができるというふうなことに繋がっていくと思いますので、くれぐれもですね、丁寧な相談体制をとっていただきたいと思います。これは、要望として述べさせ</p>

	<p>ていただきます。</p> <p>それと、実は3人目を出産するための入院を控えて、夫は仕事で帰宅が遅く、夫婦の実家は遠くて、誰も、上の子どもさんが2人おられるということなんですが、見ていただく方がおられない、どうしたらよいのかという、途方に暮れられて、急きょ町外の届け出保育施設にお願いして、1週間預けるとなった。妻が入院中は、朝出勤前に父親が幼稚園に送り届け、もう1人の子は、届け出保育所に預けて、夜10時頃保育所に迎えに行く。その間、保育所では夕御飯も食べさせて、お風呂にも入らせて、そして父親に、寝るだけの状態でお返しするという。そしてまた幼稚園に行かれている場合は、お弁当も作って、そこの保育所がですね、持たせてあげるとか、そういうきめ細やかな支援を、届け出保育所にお願いして、ようやく1週間を乗り越えた、乗り切ったということをお聞きしたわけです。</p> <p>ある母子と係わる職業に携わっておられる住民の方からお話を聞きますと、やはり第2子、第3子を望まれている家庭というのは、かなり多いと聞きます。</p> <p>その方の知る限りでも、町内に10人以上はそういう方たちがおられる。経済的には、次の子の出産が可能であるにもかかわらず、そういった出産時とか入院期間、子どもの面倒を見てあげる人がいない、預けるところがないということで、兄弟を作ってあげたいけれども、ちょっと二の足を踏む、母親が入院中に子どもの面倒は誰が見るのか、夫は仕事を休めない、そういう状況があるそうでございます。</p> <p>以前でしたら、親にお願いして、何とか手伝いに来てくれる。孫の面倒を見ていただくということもあるんですが、最近は高齢出産ということで、なかなか親も高齢化している、出産する側も高齢なんです、親も高齢化しているということで、もう面倒を見きれないというような状況もあるようでございます。</p> <p>やはり出生率向上ということは、社会命題でもありますが、やはり子どもの出生を望む家庭が何も心配せず、安心して出産に臨める、さらなる子育て支援の環境整備というものが必要であると思っておりますが、今、私がお話いたしましたことを、町長、この実態をどう受け止められますか、お尋ねをいたします。</p>
議 長	田頭町長
町 長	担当課長のほうに実態も踏まえて、説明させます。
議 長	こども課長
こども課長	<p>お答えいたします。</p> <p>ただ今ご質問されましたようにですね、核家族やひとり親家庭の増加によりですね、いろんな支援を要するケースが増えていると思われまして。</p> <p>先ほど説明しましたようにですね、町ではショートステイ、トワイライトステイということで、夜間の擁護と一時的な宿泊を伴う体制もとっております。</p> <p>そういうことをまず、最初に利用をしていただいでですね、なるべく子ども擁護に全力を尽くしていただき、町のほうとしてもそういう面で努力をしたいと思っております。</p> <p>また、改正育児休業法が7月1日から全面施行されることになっております。</p> <p>以前と大きな項目の変化としましてはですね、3歳までの子を養育する労働者について、短時間勤務制度導入の義務化、それと2つ目がですね、子どもの看護休暇の拡充。</p> <p>以前はですね、子どもの人数にかかわらず一律5日で行っていただきましたけれども、2人以上の子どもがおれば、これが10日ということで拡充されることとなります。</p> <p>また3つ目がですね、3歳までの子を養育する労働者の請求による所定外労働の免除、いわゆる残業の免除というのもですね、義務化されております。</p> <p>こういう法改正もあっておりますので、企業の方にもですね、この法律の趣旨を理</p>

	解の上ですね、全力で子育て支援のほうに協力をしてもらいたいというふうに考えております。以上でございます。
議 長	梅田議員
梅田議員	<p>当然、法律改正も行われて、拡充がなされるということなのですが、法律はできたけれども、なかなか社会が変わらなければ前に進めないというか、仕事も休みづらい、残業も断りづらいというのは実態でございます。</p> <p>それです、この環境整備なんですけれども、出産などで誰にも子どもを預かってもらえない、困っておられる家庭を対象といたしました宿泊もできる、子どものための24時間対応ケアハウス、そういったものの施設をですね、ぜひ町内につくっていただきたいというような、町民の声が実際あります。</p> <p>これに対して、町の財政厳しい中でございますし、予算が伴う事業でありますので、これは、町長のご英断に期待するところなんです、今先ほど私がお話したことも考えていただきまして、この実態に、こういったものがあれば対応できるのではないかと、いうふうに考えるわけなんです。</p> <p>そういうものをつくって、公立ですというよりも民間委託とか、いろいろ方法はあると思います。</p> <p>そういったことです、町長、今、急にケアハウスというようなことを、課長には伝えておりましたけれども、聞かれたんじゃないかと思いますが、この点、どういうふうにお考えになるか、見解をお尋ねいたします。</p>
議 長	田頭町長
町 長	<p>お答えいたします。</p> <p>まだ私も勉強不足です、ケアハウスの実態なるものがどういったものなのか、そういったところもよく承知しておりません。同時に、財政事情について、議員ご承知のとおりでございます。</p> <p>ただ、情勢は変わってまいります。消費税いかによってはですね、いろんな政策が国からも打ち出されて来ると思われます。</p> <p>そういった状況も十分アンテナを持ちながらですね、視野に入れていきたいと思っております。以上でございます。</p>
議 長	梅田議員
梅田議員	<p>篠隈保育所が来年度から完全民営化となりますと、その分の財源が57,570千円程度削減されるという報告も聞いておりますので、そういったことも視野に入れて考えていただきたいなと思っております。</p> <p>筑前町は子育てにとってたいへんすばらしい、自然環境に恵まれておりますし、教育にしても、町長の施策によりまして、35人学級が実現し、先生たちのご努力もありまして、学力向上の成果も徐々に出て来ております。</p> <p>私が提案させていただきました「あかちゃんの駅」なんです、これがこども課と地域の皆様のご協力で拡充して、あっちこっちにのぼり旗が立っている状況ですが、育児中の保護者にたいへん好評であるということ、思いがけず私は聞きまして、うれしいなと思ったんですが、安心しておむつ替えができて、気軽に外出ができるという、喜んでいただけるということでございました。</p> <p>そしてさらにびっくりしたのが、ある方が、「あかちゃんの駅」があるということを知って、筑前町に転入してきましたということも聞いたわけなんです。なんか嘘のような話だと思いつつ聞いておりましたけれども、聞いたとおりのことを伝えております。</p> <p>子育て支援を通しまして、町の人口増加と若い人たちの転入、またそれが税収増にも繋がりますし、活性化にも繋がるというふうに考えます。</p>

	<p>子どもを産み育てやすい環境、筑前町を構築すること、これがやはり町の活性化、大いに役に立つと思いますので、この子育て支援とまちづくり、活性化に対して、町長の思いをお聞かせ願いたいと思います。</p>
議長	田頭町長
町長	<p>お答えいたします。</p> <p>やはり住みよさのバロメーターは、私は人口だと思っております。人口の増える町は魅力があるわけでございます。</p> <p>それは社会的、経済的様々な要因がございますけれども、私はその中でも特に子育て支援、教育環境にですね、今の若いお父さん、お母さんは、より強い関心を持っておられるんだろうと思っております。</p> <p>そういった中で、議会と共々一緒になってですね、しっかり子育て支援をやっていく町だということを、情報発信していくことが、やはり地域の活性化に繋がると、そのように考えます。</p> <p>財政事情を考えましてもですね、人口が減少すれば何もかも根底から崩れてしまいます。あくまで人口が現状維持プラスであることを前提として、財政計画も成り立つわけございまして、地域経済も活性化するわけございまして、そういったことを考えれば、子育て支援、それは高齢社会を考えることでもあると、そのように考えます。以上でございます。</p>
議長	梅田議員
梅田議員	<p>ぜひよろしく願いいたします。</p> <p>次に、病児・病後児保育の現況と課題・対策ということで、お尋ねをいたします。</p> <p>保育所は先ほど申しましたように、病児・病後児は預かっていただけないという現状がございますし、そうなりますと、法律改正等は今後行われるにいたしましても、なかなかやはり現実に働けない状況が発生するわけでございますが、この病児・病後児の現況、先ほどの立派な町の要覧のDVDにもですね、こうやって病児・病後児対応しておりますということが紹介されておりました。現況をお尋ねいたします。</p>
議長	こども課長
こども課長	<p>お答えいたします。</p> <p>病児・病後児保育につきましては、現在、町内の小児科医等で実施には至っておりません。</p> <p>平成22年度から筑紫野市にございます2つの小児科医のですね、病後児保育利用を認めていただきまして、22年6名、23年8名、この合せて14名の方がですね、その病後児保育利用を利用していただいております。</p> <p>また、町のほうではですね、子育て支援センター「あいあい」に、病後児保育室を設けまして、町の方針では病後児サポート事業という用語を作っております。</p> <p>ここではですね、なかなか専門のスタッフの確保が難しいということで、服薬を要しない、また、病院の先生の診察も要しないほど体力が回復しているが、集団生活にはあと1日、2日ほど日数を要したほうがいいだろうという、いわゆる元気回復期の児童であればですね、お預かりするような体制をとっているところでございます。以上でございます。</p>
議長	梅田議員
梅田議員	<p>基本的には、本当は病気の時ぐらいは、子どもの傍にいて看病してあげたいというのが、親心ではございます。</p> <p>実は次世代育成支援計画、総合計画後期計画、今、ありませんので、28年度を目標に、1カ所つくりたいというふうに目標はなっておりますが、この具体的な見通しと言いますか、取り組みはありますでしょうか。</p>

議 長	こども課長
こども課長	<p>お答えいたします。</p> <p>保護者の要望としましては、やはり病後児保育も子どもの体調が急変しやすいとか、緊急時に即対応していただくためにはですね、病院併設型が一番望ましいという要望がございます。</p> <p>しかしながら、町の小児科で、なかなかそういう状況で受けただけという状況までは至っておりません。</p> <p>それともう1つですね、これは、医師会、医師の先生方の考えでございますけれども、やはり先ほどおっしゃいましたように、子どもが病気の時ぐらひは、家族が見てあげるべきだという、そういう強い信念と言いますか、考えがございますので、何度かお願いした経緯はございますけれども、病院での病後児保育には至っていないというのが現状でございます。以上でございます。</p> <p>ただですね、このまま放置していいかということ、決してそういうふうには思っておりませんので、現在、小郡市にあります児童のこぐま学園等と協議をいたしまして、ぜひ筑前町の子どもも受け入れていただけないだろうかというような、協議を進行中の状況でございます。以上です。</p>
議 長	梅田議員
梅田議員	<p>28年度を目標1カ所、なかなか先行きが不透明と言いますか、見通しが厳しいのかなというふうに感じておりますが、努力をしていただきたいと思っております。</p> <p>次に、ファミリーサポートセンターの現況と課題・対策でございますが。</p> <p>新規事業としてスタートしたわけなんですけれども、防災無線で頻繁に講習会の開催呼びかけがされておりますので、かなり登録者と言いますか、厳しい現状にあるのかなというふうに推測はするわけなんです、現状、援助会員、依頼会員、契約状況等どのようになっておりますか、お尋ねいたします。</p>
議 長	こども課長
こども課長	<p>お答えいたします。</p> <p>本年度4月から新しいファミリーサポートセンター事業ということで、事業を開始いたしました。</p> <p>そのためには当然、援助会員等の養成が必要ということで、昨年12月から今年の6月まで、5セット、延べ20回の講習会を開催しております。</p> <p>この講習会に参加されました内訳は、援助会員として活動したいという方が19名、延べ67回の受講を受けてあります。依頼会員としてお願いしたいと言われる方が14人で、受講回数は14回、延べ33人の方が81回の講習会を受けてあります。</p> <p>その結果としまして、会員として登録されました方は、援助会員11人、依頼会員8人、登録児童数は27人ということになっております。</p> <p>そして、4月から現在までの会員の双方で、契約締結に至って、サポートの実施が行われた件数は2件でございます。以上でございます。</p>
議 長	梅田議員
梅田議員	<p>これもスタートしたばかりではございますが、とにかく援助会員と依頼会員という方たちの登録いかにによって、先行きが危ぶまれるわけでございます。</p> <p>本当に課題、聞くまでもなく、多難なスタートであるなというふうに考えます。</p> <p>なんですが、先ほど言いました、子どものための24時間対応のケアホーム、そういったものがあればですね、こういうファミリーサポートの受け皿にもなりますし、病児・病後児保育の受け皿にもなるんじゃないかなというふうに考えるわけでございます。</p> <p>これは、いろいろ今後研究、検討をしていただく必要はあるとは思いますが、</p>

	<p>この両事業をカバーする役目も担えるのかなというふうに思います。</p> <p>総合計画の後期基本計画の中では、特別にシンボルテーマ、2番目に子どもが輝くまちづくりをリードする施策、事業を積極的に進めるといふふうに述べておられますので、ぜひともですね、やっぱりまちづくりのために、子どもが輝くということをし、しっかりと町長に、これは深く思いを込めて受け止めていただきたいと思いますので、今後の施策をしっかりと期待をいたしまして、私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>
議長	これにて、10番 梅田美代子議員の一般質問を終了します。
休憩	
議長	<p>ここで、休憩いたします。</p> <p>午後1時より再開いたします。お疲れ様でございました。</p> <p style="text-align: right;">(11:38)</p>
再開	
議長	<p>休憩前に引き続き、一般質問を行います。</p> <p style="text-align: right;">(13:00)</p>
議長	13番 河内直子議員
河内議員	<p>通告に従い、子どもたちを取り巻く問題と安心・安全の暮らしを守る取り組みについて、順次質問させていただきます。</p> <p>まず、子どもたちを取り巻く問題について、1点目の就学援助制度について、お尋ねをいたします。</p> <p>総務省統計局の2011年2月の労働力調査によると、完全失業者数は302万人、完全失業率は4.3%の高水準で推移しています。</p> <p>また、格差と貧困が広がる中で、年収200万円以下の働く貧困層、いわゆるワーキングプアと言われる労働者が1千万人を超えるようになっています。</p> <p>長引く不況の影響を受け、中小業者の倒産や中小小売業者の転業、廃業が続いています。</p> <p>文部科学省が2年ごとに行っている子どもの学習調査の2010年度版によれば、子ども1人に保護者が出した学校給食費、学校外活動費を除いた年間の学校教育費は、公立中学で138,440円、公立小学校で56,020円になっています。</p> <p>一家の働き手を失うといったことが、子どもたちの学校教育にも影響を与え、給食費が払えないとか学校への支払いが滞り、子どもが学校に行けないなど、国内でも深刻な実態が報告されており、今、子どもたちの教育を受ける権利が脅かされていると言えるのではないのでしょうか。</p> <p>就学援助制度は皆さんご承知のように、義務教育は無償とした憲法第26条など、関係法に基づいて、小中学生が安心して勉学に励めるように、学用品費や給食費、修学旅行費などを補助する制度です。</p> <p>そこでまずお尋ねいたしますが、この制度を活用できる基準は、今どうなっているのか、また、周知はどのようにしているのかをお尋ねいたします。</p>
議長	教育課長
教育課長	<p>お答えいたします。</p> <p>認定の基準としましては、前年度または当該年度において、生活保護法に基づく保護の停止、廃止を受けた人、町民税非課税の人、児童扶養手当の支給を受けている人、地方税法の減免を受けている人、それから保護者の職業が不安定で、生活状態が悪いと認められている場合、生活保護基準に基づく認定基準倍率が1.2倍までの世帯について認定をいたしております。</p> <p>この就学援助制度の周知につきましては、前年度受給者につきましては、1月に文</p>

	<p>書で個別に通知をいたしておりますし、広報の2月号で、この制度の周知を行っております。</p> <p>また、児童扶養手当担当課に問い合わせ対応のですね、お知らせ文書を配布いたして、配布依頼をいたしております。</p> <p>それから、24年度からでございますが、全保護者へ平成24年度就学援助制度のお知らせという文書を、4月の1学期初めに学校を通じて配布を行っております。</p> <p>また、転入者につきましては、学校にお知らせ文書を常備しております、転入時に通知をいたしております。以上でございます。</p>
議 長	河内議員
河内議員	<p>これが今年から配られた平成24年度就学援助制度のお知らせを拡大コピーしたものです。</p> <p>この中でですね、先ほど課長が言われた認定基準なんですが、認定基準の2で、世帯全員の町民税が非課税または減免されている世帯、認定基準のですね、とありますけれども、生活保護基準では夫婦2人、子ども小中学生各1人の4人家族で、年間1,86,366円。中学生2人の4人家族では1,931,160円になります。</p> <p>住民税の非課税所得は、均等割で1,288千円です。1,288千円以上の所得が1円でもあれば、4,500円の均等割がかかります。所得割では1,720千円以下が非課税となっています。</p> <p>そこでお尋ねしますが、生活保護基準より所得が少なくても住民税が課税されているため、制度の活用ができないことになるのではないのでしょうか、お尋ねいたします。</p>
議 長	教育課長
教育課長	<p>お答えいたします。</p> <p>住民税の均等割が課税されておっても、非常に生活がきついと、厳しいという状況がございます、申請が上がってくれば、うちのほうで、この、もう1つの生活保護基準の計算をいたしまして、それによって認定をいたしておりますし、また、その状況につきましては、例えば、前年度は収入があったと。ただ当該年度については収入がないという、現状の状況につきましては、学校長のほうからですね、そういった実体の状況をつけてですね、うちのほうに申請が上がってきますので、そういうのを勘案しながら認定を行っております。以上です。</p>
議 長	河内議員
河内議員	<p>では、この3番の児童扶養手当を受けているという方に対しても、児童扶養手当は所得制限があって、所得1,920千円以上は対象となりません。その方についても生活保護基準の1.2倍の所得であったらば認定するということでしょうか。</p>
議 長	教育課長
教育課長	<p>お答えいたします。</p> <p>児童扶養手当を受けてある方は、無条件で認定を行います。</p> <p>児童扶養手当を、今言われましたような方につきましてはですね、やはり申請を出していただきまして、その中で計算をしてですね、認定の判断をいたしております。以上です。</p>
議 長	河内議員
河内議員	<p>でも、各保護者に配られているのは、この24年度就学援助制度のお知らせであって、生活保護基準の1.2倍とはどこにも、一言も書いてありません。</p> <p>これを受け取られ父兄が、うちは町民税が非課税じゃないからと、最初からあきらめてしまう場合もあるのではないのでしょうか。</p> <p>そこで筑紫地区では、4市1町すべての自治体で、住民税の所得割の税額で基準を</p>

	<p>決めています。</p> <p>筑紫野市49,300円、太宰府市54,200円、大野城市55,000円、春日市53,100円、那珂川町49,300円となっています。</p> <p>今年6月以降の申請については、年少扶養控除の廃止の関係で、筑紫野市97,200円、太宰府市96,600円、春日市95,700円、那珂川町91,900円、大野城市は今検討中ということでした。</p> <p>非常に分かりやすいと思いますし、十分とは言えないまでも子育て支援に寄与しているのではないのでしょうか。</p> <p>筑前町でもこれに倣い、認定基準の見直しをすべきと考えますが、教育長の見解をお尋ねいたします。</p>
議長	教育課長
教育課長	<p>教育長ということでございますが、私のほうから回答させていただきます。</p> <p>先ほど議員言われました筑紫地区の所得割の計算ということでございますが、家庭の人数によりまして、需要額が変わる場合がございます。</p> <p>そういうことで、筑紫地区の一律のですね、市民税の所得割額であった場合ですね、やはりその、例えば子どもさんの数が多いとかですね、そういった場合に、認定する場合の基準が、若干不公平が出る部分もございますので、そういうことから、生活保護の基準で計算をしている他の自治体もでございます。</p> <p>近隣で申しますと、朝倉市は生活保護基準の1.2倍でございます。それから、小郡市も同じ生活保護基準の1.2倍、大刀洗町は生活保護基準の1.0、そういうことですね、まだうきは市のほうも非課税世帯のみというようなことになっておりますので、近隣の状況等を、今の場合ちょっと勘案しながらですね、うちの場合もそういう、周知についてはもう少し考えていきたいと思っておりますけれども、現状ではですね、この基準で行きたいというふうに考えております。以上です。</p>
議長	河内議員
河内議員	<p>では、援助内容について、1点だけお尋ねしたいと思います。</p> <p>本年度から必須科目となった中学校の体育の授業、筑前町では柔道を両中学校とも選択していますが、その道着についての教育費品としての補助は、就学援助で出るのかどうかお尋ねします。</p>
議長	教育課長
教育課長	<p>お答えいたします。</p> <p>一応、学用品等購入費の対象となるということでございます。以上です。</p>
議長	河内議員
河内議員	<p>そしたらやはりこの中にもですね、その旨をきちんと援助内容の中にですね、次年度出すときには入れていただきたいと思っております。</p> <p>縁あって筑前町に引っ越されてきた方が、今まで利用できていた制度が利用できなくなるということのないよう、十分な配慮をお願いし、次の質問に移ります。</p> <p>次に、学校における体育必須科目について、お尋ねをいたします。</p> <p>この件につきましては、昨日の福本、川上両議員からも質問があつておりますので、重複する部分については、省略させていただきます。</p> <p>先日5月31日と6月1日の2日間、文教厚生常任委員会で、町内の小中学校6校の学校訪問をさせていただきました。その中で、夜須中学校の体育館内の柔道場も拝見させていただきました。</p> <p>今の体育館は平成3年2月に完成されたわけですが、それ以来畳の補修は一部あったにしろ、21年間畳替えは行われていないとのことでした。</p> <p>顧問の先生は、畳が危険な状態であると判断し、業者に見積りを取ったところ、3</p>

	<p>00万円以上かかるとの報告を、校長先生にされたそうです。</p> <p>訪問の何日か前には、柔道部の生徒が畳に足を取られ骨折をされているそうです。</p> <p>柔道部の柔道に慣れた生徒がケガをするようでは、慣れない生徒が授業中にケガをしたらとたいへん心配です。道場の畳の寿命はどのくらいあるのか、お尋ねいたします。</p>
議長	教育課長
教育課長	<p>お答えいたします。</p> <p>たいへん申し訳ございませんが、寿命は把握しておりません。</p>
議長	河内議員
河内議員	<p>町内業者の畳業者にお伺いしたところ、200万はかからないのではということでした。子どもたちの安全を守るためにも、畳替えの必要があると考えますが、見解をお尋ねいたします。</p>
議長	教育課長
教育課長	<p>お答えいたします。</p> <p>教育委員会といたしましては、毎年2学期に、施設、諸帳簿点検中心の学校訪問を行いまして、課題の共有を図っておりますが、昨年の学校訪問でも、また一昨年の学校訪問でも、また平成24年度の予算査定におきましても、柔道場畳の入れ替えについては、全く話題にも上がっておりませんでした。</p> <p>議員ご指摘の件につきましては、十分理解をいたしておりますが、学校から正式に入れ替えの要望が上がって来ておりませんので、上がってきた段階で、財政課と十分協議をしながら、検討してまいりたいと、そのように考えております。</p>
議長	河内議員
河内議員	<p>では、学校のほうに早速要望を上げるように申し伝えます。</p> <p>子どもたちの安全を第一に取り組んでいただくことをお願いしておきます。</p> <p>次に、各教室・ランチルームに網戸の設置をについて、お尋ねをします。</p> <p>まず、現在、網戸が設置されているところは、どこにあるのかをお尋ねいたします。</p>
議長	教育課長
教育課長	<p>お答えいたします。</p> <p>まず、ランチルームでございますが、ランチルームは三並小学校を除きまして、すべての学校で網戸を設置いたしております。</p> <p>また、教室につきましては、すべての学校で網戸は設置いたしておりません。</p>
議長	河内議員
河内議員	<p>福島原子力発電所の大事故を経験して、今、日本でも世界でも原発撤退を求める声が大きく広がっています。日本では、5月5日の北海道電力泊原発3号機の停止によって、日本中で稼働原発ゼロという画期的な状況が生まれています。玄海原発も未だ止まったままで推移しています。</p> <p>そんな中九州電力は、夏の電力供給を制限しようとしています。節電に協力はもちろん惜しみません。</p> <p>町ではいち早く各小中学校に太陽光、風力発電も導入しています。先見の明があったと評価をしているところです。他にできることはないかと考えたとき、網戸1つで暑さも多少しのげるのではと思います。</p> <p>先日の学校訪問のとき暑かったのですが、窓も開けずに授業をしているクラスがありました。理由を尋ねたところ、窓を開けると虫が入って来るからということでした。</p> <p>網戸があれば虫の侵入も防ぐことができます。梅雨時期は無理としても、晴れ間のある日、秋口には大いに活用できるのではと考えます。</p> <p>設置されていない三並小には特にですが、設置されていないところ、各教室にはゼ</p>

	ひ網戸の設置をお願いしたいと考えますが、見解をお尋ねいたします。
議 長	教育課長
教育課長	<p>お答えいたします。</p> <p>ランチルームにつきましては、三並小学校以外の全校とも現在設置をいたしております。</p> <p>三並小学校では当初計画におきまして、完全空調利用であったのかと推察をするわけですが、昨年来議員おっしゃるとおり、節電、省エネの取り組み推進の観点から、網戸設置は当然必要と、そのように考えますので、今後学校、財政当局と協議しながら、設置の方向で検討してまいりたいと考えております。</p> <p>ただ、各小中学校の教室の網戸についてでございますが、もし、仮に設置した場合、日常の学校生活の行動等において、特に児童や生徒が誤って破ったりする場合も考えられまして、補修費にその都度多額の経費を費やすことが予想されます。</p> <p>そういうこともありますし、通常、虫の件につきましては、別にまた考えていくということですね、今のところ各教室についてまで、設置をするような考えは持っておりません。</p>
議 長	河内議員
河内議員	<p>子どもたちが少しでも快適な環境で学習、食事ができるようお願いを申し上げまして、次の質問に移ります。</p> <p>次に、安心・安全の暮らしを守る取り組みについて、お尋ねをいたします。</p> <p>まず初めに、介護保険制度について、お尋ねをいたします。</p> <p>この問題につきましては、昨年9月議会にも質問させていただきましたが、そのときの答弁も踏まえ、再度質問します。</p> <p>2011年6月に成立した改正介護保険法は、医療介護、予防、住まい、生活支援が切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの実現を目指すとして、提出されました。</p> <p>これまで歴代政府は介護給付費抑制のための軽度者からの介護取り上げを、段階的に進めて来ており、地域包括システムの構築で、さらにそれが強められていると言えるのではないのでしょうか。</p> <p>昨年9月時点での前課長答弁では、厚生労働省の省令等が出ていないので判断できないということでしたが、9カ月過ぎた現在、介護予防日常生活支援事業の創設は考えているのか、お尋ねをいたします。</p>
議 長	福祉課長
福祉課長	<p>お答えいたします。</p> <p>総合事業につきましては、4月からの新設の事業ということでもありますけれども、広域連合といたしまして、この総合事業の内容ですけれども、要支援認定者、2次予防事業対象者に対しまして、介護予防や配食、見守り等の生活支援サービス等を総合的に提供する事業でございます。</p> <p>広域連合といたしましては、構成市町村ごとの2次予防事業や生活支援サービス等の現状が異なることから、この第5期事業計画期間中は実施を見送り、今後必要に応じて構成市町村との調整、検討を行うということにしております。以上でございます。</p>
議 長	河内議員
河内議員	<p>現時点で広域連合として考えていないということでした。</p> <p>前回は申し上げましたが、地域支援事業は、その事業費が介護給付費の3%以内と制限されています。</p> <p>これまで要支援の方たちの介護給付費は、2011年で約6%であり、現行のままでは必要なサービスが提供されないことは明らかではないのでしょうか。</p>

	<p>今後総合事業を実施するのなら、3%からの引き上げが不可欠であるということをおし添えておきます。</p> <p>次に、24時間地域巡回型訪問サービスについて、お尋ねをします。</p> <p>このサービスの介護報酬は、包括定額式になったのか、また、参入事業所は決まったのかをお尋ねをいたします。</p>
議長	福祉課長
福祉課長	<p>お答えいたします。</p> <p>定期巡回随時対応サービスでございますけれども、このサービスにつきましては、基本報酬が1カ月の定額報酬ということになっております。</p> <p>なお現時点におきまして、広域連合での指定事業所はございません。以上でございます。</p>
議長	河内議員
河内議員	<p>24時間サービスは、採算面などから参入する事業所があるのか、の疑問が形になったと言えるのではないのでしょうか。</p> <p>次に、介護職員の医療行為の法制化について、お尋ねをします。</p> <p>今まで介護職員などによる痰の吸引や経管栄養は通知による運用で、重度化した特養入居者や在宅ALS患者などに限定されておりました。</p> <p>しかし今回の改正で、在宅の利用者や他施設にも拡大して法制化がなされました。今後介護食の医療行為は法改正なしに、医療行為の本来専門教育を受けた有資格者のみが行える医療行為を、効率化の名の下に介護職員に肩代わりさせることは、利用者の命を脅かすことに繋がるのではないのでしょうか。</p> <p>施行事業を徹底的に検証し、安全確保体制の強化、人員配置基準の大幅改善などを図り、現場の懸念を解消すべきと考えますが、見解をお尋ねいたします。</p>
議長	福祉課長
福祉課長	<p>お答えいたします。</p> <p>介護職員等により痰の吸引等の取り扱いにつきましては、介護現場におけるニーズ等も踏まえまして、先ほど議員からの発言もございましたように、これまでも当面、やむを得ない処置として、一部施設等で一定の条件のもと運用が認められておりました。</p> <p>そういった経緯も踏まえまして、これまで介護現場等におきまして、痰の吸引等の必要な方に、必要なケアをより安全に提供し、利用者や介護職員等の双方にとって安心できる仕組みとしての法制度や教育、研修のあり方等について研修が行われ、昨年は基本的な考えとして、制度の骨子がまとまっております。その施行も踏まえまして、今回の実施ということでございます。</p> <p>今後、法令化がますます進行いたしますし、痰の吸引や遺漏等の経管栄養が必要な人も増えてまいります。医師や看護師だけの対応では間に合わなくなる可能性もおおいにございます。</p> <p>療養患者等の安全や介護職員等の安心を確保した上で、介護職員等が痰の吸引等を行えることが望まれるのではないかと考えております。以上でございます。</p>
議長	河内議員
河内議員	<p>介護保険制度は1977年に介護保険法が成立して、2000年4月から施行されました。</p> <p>国は当初、家族介護を解決、社会全体で介護を支えるための介護保険制度を導入すると謳っておりました。</p> <p>それにもかかわらず、親の介護のための介護離職、恒例の配偶者や子どもが高齢者を介護する老老介護が常態化しています。</p>

	<p>介護保険導入後の10年で、介護心中は400件も起きており、深刻な事態が広がっています。</p> <p>2011年8月分介護保険事業状況報告調査によれば、高齢者2,900万人のうち介護保険サービスを利用している方は417万6千人であり、わずか14%にすぎません。また、介護が必要と認定されながら、サービスを利用していない方は、同じ調査で83万人に上っています。</p> <p>多くの高齢者の方々が、介護の必要性ではなく、重い利用料負担によって、いくら払えるかで、受けるサービスの内容を決めざるを得ない状況になっています。</p> <p>特養ホームに入所を申し込みながら、待機している方々は42万人に上り、どこでも入所まで2、3年待ちが当たり前となっています。</p> <p>保険あって介護なしの状態を根本的に変えて、国民だれもが使いやすい制度にすることは、多くの皆さんの持っている切実な要求であるということを申し述べ、次の質問に移ります。</p> <p>次に、国民健康保険「広域化」で国保の危機的事態は解決できるのか、ということについてお尋ねをいたします。</p> <p>民主党政権は、昨年6月に決めた社会保障と税の一体改革成案の中にも、国保の都道府県単位化を明記し、2012年には関連法案を国会に提出するとしています。</p> <p>国保の運営を広域組織や都道府県に移管しても、国庫負担を抑制されたままでは弱者同士の痛みの分かち合いにしかないのではないのでしょうか。</p> <p>この間、知事の号令で、国保広域化が強力に推進されてきた大阪府下の自治体当局者の中からは、広域化してもよいことはない、国保の運営は大変だが、広域化されて住民のために働けなくなるよりはまし、などの声が出て来るようになってきました。</p> <p>すでに複数の国保広域連合がつけられている北海道では、参加自治体の関係者から、広域化でサービスがよくなると宣伝されたのに、国保料は上がり続けている。一般会計の繰入ができない広域連合は脱会したい。などの不満が出ています。</p> <p>一般会計繰入の解消と保険原理の徹底によって、国保を安上がり保険に変質させる改悪では、国保の危機は打開できないと考えます。見解をお尋ねいたします。</p>
議長	健康課長
健康課長	<p>お答えいたします。</p> <p>国保につきましては、県下で今、法定外繰入が115億円ほど行われております。繰上充用も、これは22年度ですけれども、61億円ほど行われているということでございます。</p> <p>これらがすべて赤字とは言えませんけれども、単純に考えても180億弱の財源が、何らかの形で補てんされているというようなことでございます。</p> <p>こういうことを考えますと、広域化だけで改善することには無理があるだろうというふうに考えます。</p> <p>また、国保の基本的な財源はご承知のとおり、医療費などに対する支払い分を、国庫補助、税、その他の交付金等で補うものですが、税についてはですね、ある程度増額には限度があると思います。</p> <p>国からの財政措置が行われない限りは、やはり広域化のみで解決するには無理があるというふうに考えます。</p> <p>ただ、筑前町の国保の状況を見ても、医療費の増加よりもですね、収入の変動による影響が非常に大きいと。特に前期高齢者の交付金につきましては、年のよりましては2億円から3億円の変動が出ております。</p> <p>このような状況で、小さな町村で行うにはですね、やはり長期的な計画であるとか展望が持つことは難しいというようなことを感じております。</p> <p>筑前町でも22年度の収支を見ても、一般会計からの繰入れを含めまして、</p>

	<p>2億4千万ほどの赤字ですけれども、23年度には、これが1億7千万程度になっております。ここ1年で7千万の変動が起きていると。</p> <p>この原因としましては、やはり収入が大きくて、税も医療費もほとんど変わりはないような状況でございます。一般被保険者の医療費につきましては、若干下がっているほうでございます。</p> <p>そのような状況の中で考えますと、やはり運営を、今からこういう状況の中で運営していくには、やはりある程度の規模としっかりとした財政基盤のですね、ある単位で運営をするというようなことは、選択肢の1つとしてはですね、やはり協議しなければならない重要な問題だろうというふうに思っております。</p> <p>ただちょっと付け加えになりますけれども、すでに国保法の改正によりまして、27年度から1円以上の医療費の共同化というようなことで、今まで30万以上の共同化はあったんですけれども、それを1円までにしていくと。ですから、県下でほぼ医療費が平準化されると。これが法律で決定しておりますので、27年度からそのようになっていくというようなことでございます。</p> <p>また、今まで広域化の議論の中で、いつが目標かというような目標年度があまり示されなかったんですけれども、地方の会議の中で、初めて平成30年度というようなことが、初めて出て来ております。</p> <p>広域化については、一応、少し歩み始めているというようなところが現状だというふうに考えております。以上です。</p>
議長	河内議員
河内議員	<p>政府与党が進める負担増、取り立て強化路線を抜本的に展開し、住民の暮らしと健康を守るという国保本来の役割を取り戻す改革が、今、求められているのではないのでしょうか。</p> <p>国保の国庫負担を計画的に、1984年改悪前の水準に戻せば、国保税全体の水準を抜本的に引き下げることができます。</p> <p>さらに国保税の算定方式などを見直し、所得に応じた保険料、誰もが払える保険料に改革すれば、滞納もなくなり、持続可能な国保財政への道が開かれます。</p> <p>国保財政を危機に陥れ、保険料高騰と滞納増の悪循環を引き起こした元凶は、国庫負担の削減です。国庫負担を増額し、国保税を引き下げる以外に、今の事態を解決する道はないということを申し述べ、次の質問に移ります。</p> <p>次に、赤坂地区長浦開発について、お尋ねをいたします。</p> <p>この件につきましては、午前中、久保議員からも質問があつておりますので、重複しないようお尋ねをいたします。</p> <p>この開発では、実に11,138㎡の土地に5mもの高さの土砂が運び込まれ、資材置き場として開発されています。</p> <p>筑前町では、上水道事業は始まったとはいえ、すべての家庭が上水道を引くわけではなく、飲料水に地下水が使われています。この開発地の下流域に住んでいらっしゃる住民の方々は、土壌の汚染をたいへん心配されています。</p> <p>午前中、水質検査の結果は、課長のほうからお話がありました。正常範囲であつたということですが、水質への影響はすぐには出ないものです。今後とも毎年の水質検査をすべきと考えますが、見解をお尋ねいたします。</p>
議長	環境防災課長
環境防災課長	<p>お答えいたします。</p> <p>今日午前中の久保議員の質問に対する都市計画課長の回答は、開発地そのものの水質検査に対する回答ということで、私のほうから、その下流域の水質の結果ということでご報告をさせていただきます。</p>

	<p>赤坂地区の開発に伴いまして、平成23年度より下流域にあたります松延新道公民館、それから石櫃公民館、中牟田町公民館の3カ所を、議員ご指摘のように、地下水水質検査17項目から土壌地下水水質検査で22項目追加の39項目へ追加変更して実施しておるところでございます。</p> <p>また、検査結果につきましては、すべての項目について基準以下であったとの結果が出ており、今後も引き続き見守っていきたく、このように考えております。</p> <p>また、午前中の質問で都市計画課長が答えておりましたように、今後議会の全協なり区長会なり、直近のそういった機会でご報告をしていきたいと、このように考えております。以上です。</p>
議長	河内議員
河内議員	<p>では、水質検査の件につきましては、そのようにお取り計らいをお願いいたします。</p> <p>次に、資材搬入時の使用トラックについて、お尋ねをいたします。</p> <p>搬入路に使っている道路は、道幅4mにも満たない、車同士の離合も困難な非常に狭い道路です。通行を規制する法律はないのか、まずお尋ねをいたします。</p>
議長	建設課長
建設課長	<p>道路の管理の内容でありますので、建設課のほうよりお答えいたします。</p> <p>現道は4mで現在拡幅改良されておまして、現在、ダンプ、トラックにつきましては、普通通れるわけでございます。</p> <p>規制の件でございますけど、大型車規制の手続きはですね、通常地域住民の皆様の大半の賛成がありまして、地元から町のほうへ要望が上がればですね、警察署等へ協議となりまして、そこで初めて公安委員会の交通規制の可否が判断されてくることとなります。以上でございます。</p>
議長	河内議員
河内議員	<p>その件については、朝倉警察署の交通課に行ってお尋ねをしました。</p> <p>規制はしても、業者から道路使用許可が期間限定で出された場合は、それを発行せざるを得ないということだったので、少し難しいのかなと考えます。</p> <p>山麓線の入り口には、地元車優先の看板が掲げられているんですけども、それがきちんと守られているのか、お尋ねをいたします。</p>
議長	都市計画課長
都市計画課長	<p>お答えいたします。</p> <p>この埋め立て事業につきましては、平成23年の10月21日に町と施工業者と覚書を取り交わしておまして、車両の通行それから安全確保についても、覚書の中に記載をいたしております。</p> <p>その中に6点ほどあるわけなんですけれども、今おっしゃっておるような内容につきましては、一般の交通に支障のないように施行するとともに、入口について、工事施工中及び施設利用開始後は、徐行させるなど、事故防止に万全を期すること、なおまた、隣接地を通行するときは徐行するなど、事故防止に万全を期することというこの記載もございます。</p> <p>施工業者につきましては、各種看板を設置しておりますし、工事用車両等の入口、徐行、それから地元車優先、それから工事関係者以外の立ち入り禁止等の看板を設置し、併せて交通整理員を配置して、車両の誘導と安全確保及び道路の清掃等には取り組んでおるということを、確認をいたしておるところでございます。</p>
議長	河内議員
河内議員	<p>平成22年8月21日に赤坂区の公民館での説明会の折に、業者は、搬入車両について、地元車に迷惑がかからないよう、人的対応も含め、誘導、待機の対応を徹底するという説明をされているようですが、対応の確認はされているのか。</p>

	先ほど交通整理員を置いているというふうにおっしゃいましたが、それは確認されているのか、お尋ねをいたします。
議長	都市計画課長
都市計画課長	<p>お答えいたします。</p> <p>毎日検査に行ったわけではございませんので、何とも言えないところはあるんですが。私どもも現地に入りまして、6回、毎月1回の現地の立ち入り検査をしております。</p> <p>その折に、私も3回は行ったと思いますが、その折には変電所の下、それから搬入路のところには監視員がつきまして、そして旗を持っての誘導は行われておりました。</p> <p>もし今おっしゃっておるような状況があったということであればですね、施工業者のほうに確認を取ってですね、もし改善しなければならぬ部分がありましたら、改善をさせたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
議長	教育課長
教育課長	<p>すみません。先ほどの水質検査の件でですね、環境防災課長から3カ所ということではおっしゃっていましたが、一応、中牟田小学校のほうでも独自で検査をしておりますので、その分を追加で報告をさせていただきます。</p> <p>中牟田小学校におきましては、毎年1回ですね、4月に51項目の検査を行っております。この検査におきましても、何ら水道法基準に違反するような内容はございません。</p> <p>それから、毎月1回、本管のほうでですね、毎月1回10項目の水質検査を行っております。それと、プールの開始時期に、6月にですね、プールの水を11項目ということで、中牟田小学校では毎月と年間1回51項目、それとプールの11項目の検査を行って、今まで異常があったという報告は受けておりません。</p> <p>なお、中牟田小学校につきましては、今年夏休み期間中に水道の接続工事を行いますので、9月からは水道を使用するということになります。</p> <p>以上、追加報告をさせていただきます。</p>
議長	河内議員
河内議員	<p>私も現場には何回か足を運びましたが、誘導の警備員は見えていませんし、1度は搬入トラックと遭遇し、こちらが脇道に逸れ、トラックをやり過ぎた経緯があります。</p> <p>工期は、看板に平成26年10月31日と書いてあります。まだこれから2年間以上も、あの狭い道路が使われることになります。</p> <p>現場と入口に警備員を配置し、地域住民の方々に迷惑のかからないよう、実際に現場をチェックし、年6回ではなくですね、もっと回数を増やしていただきたい。</p> <p>守られていないようなら、厳重な指導をお願いしたいと思いますが、見解をお尋ねします。</p>
議長	都市計画課長
都市計画課長	<p>お答えいたします。</p> <p>6回がえらい進みよりもすけれども。</p> <p>中に入って、業者立会いの下で検査をしたのが6回でございます。担当は常時時間を見つけて行っておることを、付け加えさせていただきます。</p> <p>それから、確かにそういうふうな状況があったということであれば、地元と周辺関係者との各種協議事項を順守するというのも、覚書の中に入れております。</p> <p>その地元との覚書の中には、通学児童に配慮することとか、搬入時間とか、それと今おっしゃっていますように、交通整理員を配置することということも入っておりますので、状況を確認しながら、先ほど申しましたように、是正が必要な場合には、適</p>

	正な是正を指導したいと思っております。
議 長	河内議員
河内議員	<p>私ごとでたいへん恐縮なのですが、以前、私の実家の隣に、トヨタの社宅が建設されたとき、工事の関係で窓枠が傾き、窓の開閉ができなくなり、トヨタから補償修理をしていただいています。</p> <p>今後まだまだトラックの往来が、何十台、何百台とあると思います。道路沿いのお宅は大丈夫でしょうか。</p> <p>町民の生命、財産、福祉を守るのが自治体の本旨です。自治体の本旨に沿った対応をお願いし、次に進みます。</p> <p>次に、朝日バス停の駐輪場整備について、お尋ねをいたします。</p> <p>バス停周辺の駐輪場の整備については、毎年計画的に取り組みられており、利用者には非常に喜んで利用をいただいているところです。本年度の予算にも公共交通利用促進整備事業として、約2千万円の予算が計上されています。</p> <p>去る5月20日に開催された町政報告会でも、重点施策の紹介の中で報告がなされていました。</p> <p>その駐輪場整備の1カ所、朝日西バス停の整備についてですが、皆さんご存じのように、朝日西バス停は既存のバス停ではなく、近年になって設置されたものですが、まず、設置に至った経緯をお尋ねいたします。</p>
議 長	田頭町長
町 長	<p>お答えいたします。</p> <p>私が職員の折に、西鉄自動車のほうから、バス停をさらに追加をしたいということでした。特に、甘木から山家までの間を追加したいということで、いろいろ用地交渉等は直接西鉄さんのほうがされたわけでございますけれども。</p> <p>とにかく国道まで出て、100m以内にバス停を1カ所ずつ作りたいという方針でございました。そういった中で、今設置されているのが、現在のバス停でございます。様々に場所は検討されておりました。</p> <p>その後、私もその場所を確認いたしまして、地元の方に了解が得ているならばということで、現在の状況になったわけでございます。以上でございます。</p>
議 長	河内議員
河内議員	<p>朝日西バス停は、バスの引き込み場所はなく、下りのバス停に至っては、土手にバス停の看板が設置され、乗降者の待機場所もほとんどと言っていいほどありません。</p> <p>利用者は、車の往来に身を細めて待機している状態と言っても、決して過言ではありません。駐輪場を整備する前にバス停の移動が先ではと考えますが。</p> <p>例えば上りは、5軒の住宅が途切れた先のコココーラ社の手前には空き地があり、カーサ朝日ヶ丘、近隣の住宅にも道が繋がっています。そこは山家と朝日バス停のほぼ中間点になります。バス停をもう少し安全な場所に移動することはできないのか、お尋ねをいたします。</p>
議 長	企画課長
企画課長	<p>実務的なことですので、私のほうから回答させていただきます。</p> <p>まず、朝日西の下りのバス停ですね、甘木方面のバス停でございますけれども、これにつきましては、今年度福岡県が実施を予定していますバスカット事業、これに合わせましてですね、町のほうは駐輪場と待合所を整備する計画でございます。関係予算はですね、当初予算に計上しているところでございます。</p> <p>しかしながらですね、当初計画をしていました用地がですね、地権者の了解が得られず、断念をせざるを得ないような状況になっているところでございます。</p> <p>そこで現在、次の候補地を決めましてですね、関係者と調整中ということを知って</p>

	<p>いるところでございます。</p> <p>したがって、下りにつきましては、大きくバス停を動かすことは考えておりませんので、とにかく現在地に近いところで、そういった恒久的な駐輪場、あるいは待合所をですね、整備する計画でございます。</p> <p>それから、上りにつきましてもご指摘をいただきましたけれども、これにつきましては、具体的には、移動することまでまだ考えておりません。下りに比べましてですね、ちょっと引っこんでいると思うんですね、そういった中で辛抱していただきたいなという気持ちでございます。</p> <p>これにつきましても山家道のほうに寄りますと、あそこに近くなりますしですね、また、こっちの西側に寄りますと、今度は朝日のほうのバス停と近くなるというようなことがありますので、利用者の、いわゆる地元から了解が得られるかという、そういったこともございますので、そういったことも勘案しまして、移動が必要であれば当然動かして行かなくちゃいけないと思いますけれども、現在地で一番適当ということになりますとですね、今のところは現在地で、利用者にはいくらか我慢していただくということもあっております。以上でございます。</p>
議 長	河内議員
河内議員	駐輪場を整備してしまってからでは移動はできません。利用者の安全を一番に考えて取り組んでいただくことをお願いし、私の一般質問を終わります。
議 長	これにて13番 河内直子議員の一般質問を終了します。
休 憩	
議 長	<p>ここで、休憩します。</p> <p>2時10分より再開いたします。</p> <p style="text-align: right;">(13:48)</p>
再 開	
議 長	<p>休憩前に引き続き、一般質問を行います。</p> <p style="text-align: right;">(14:10)</p>
議 長	9番 一木哲美議員
一木議員	<p>通告に基づきまして、質問をさせていただきます。</p> <p>3件ございますけれども、順番を、通告の2番目と3番目を入れ替えさせていただきたいと思っております。よろしくご了承いただきたいと思っております。</p> <p>なお、議長のほうへご了解をいただきまして、皆様お手元のほうに、数が限られますけれども、プリント写真のほうを用意させていただいております。よろしくご了承いただきたいと思っております。</p> <p>それでは、まず最初に、通学路の安全総点検について、質問をさせていただきます。</p> <p>この質問につきましては、昨日4番議員、本日8番議員からも質問がございました。少し重なるところが出てくるかも分かりませんが、当初からこの質問につきましては、通告をさせていただいております内容でございますので、基づきまして質問をさせていただきたいということで、よろしくお願いいたしたいと思っております。</p> <p>今年の新学期早々から、登下校の子どもを襲う痛ましい交通事故が続きました。</p> <p>4月23日朝、京都府亀岡市で集団登校中の児童の列に、無免許、居眠りの少年18歳が運転する軽自動車が入り込み、2年生と3年生の娘と子どもに付き添っていた妊婦の方、3名が死亡、重体1人、負傷者6人の事故が発生いたしました。</p> <p>千葉県館山市でも集団登校中の小学生の列に車が突っ込み、多数の死傷者が出ました。また、4月26日、午前7時35分ごろ、福岡県直方市内の登校中の小学1年生女児を軽トラックではね、逃げた容疑者80歳が逮捕されました。</p> <p>一緒にいた小学2年の兄は無事だったが、女児は顔面骨折など約2週間のケガを負</p>

	<p>いました。通学途中の幼い子どもを巻き込んだまさかの事故が続けて発生し、ニュースで知った国民はまことに無念であり、運転者のモラルや責任のあり方に憤りを痛感したところでございます。</p> <p>さて、小川福岡県知事は、最近通学中の子どもの交通事故発生が続いているため、福岡県内58市町村教育委員会、学校に対して、通学路の安全点検を実施するようにと指示されたことが、5月15日のテレビで報道されました。</p> <p>去る5月22日、県の教育委員会へ問い合わせをいたしました。</p> <p>県は、小中学校児童・生徒登下校時の安全対策を行うべき、通学道路の安全総点検を県内市町村58へ通達したと申されました。</p> <p>本町の教育課に、5月23日に尋ねました。点検実施は学校で行っていただいて、その結果の報告を教育課、教育委員会が受け、その後6月1日までに北筑後教育事務所に報告、6月6日までに県に報告すると説明を受けました。</p> <p>そこで、質問をさせていただきたいと思います。</p> <p>県教育委員会の通達に基づく、本町6学校の通学道路の安全総点検の結果報告、内容について、各々学校から上がって来た点検結果、危険場所、数はどう報告を受けたのか。また、特に問題であると判断された、その主な重点事項について、説明を求めたいと思います。</p>
議長	教育課長
教育課長	<p>お答えいたします。</p> <p>県の調査の結果でございますけれども、安全総点検の実施結果についてということで、各学校から、危険箇所等の問題点があったということで、回答をした学校はですね、小中学校すべて町内の学校、危険箇所があったという回答をいたしておりまして、その具体的な件数としましては、三並小学校12件、中牟田小学校14件、東小田小学校14件、三輪小学校22件、夜須中学校19件、三輪中学校19件、合わせまして合計ちょうど100件になりますが、100件でございます。</p> <p>その危険箇所の主なところでございますが、数が多いので、主なところだけ述べさせていただきます。</p> <p>まず、三並小学校ですが、カーブした道路でガードレールがなく、スリップにより歩道に車が突っ込む可能性がある。県道の歩道より車道のほうが高くなって、歩道側にハンドルが取られる可能性がある。</p> <p>中牟田小学校でございます。歩道がなく、大型車が通行している脇を登下校している。信号機の待機場所が狭く、国道の車と至近距離での待機となり危険である。</p> <p>東小田小学校、コンビニの駐車場の間口が広く、通り抜けする車が多く危険である。交通量が多い県道に横断歩道がなくたいへん危険である。</p> <p>三輪小学校、歩道と車道を分離する縁石がない区間が多い。スピードを出して走る車が多く、通学路だと分かりやすくしてほしい。道幅が狭くカーブの多い生活道路、見通しが悪く注意喚起が必要。</p> <p>夜須中学校でございます。見通しの悪い交差点が多い、狭い県道をスピードを緩めず走る車が多い。</p> <p>三輪中学校です。信号のない交差点に信号を付けてほしい。自転車も通れる歩道を設置してほしい。そういったふうな内容でございます。以上です。</p>
議長	一木議員
一木議員	<p>各学校から上がってきました点検の結果につきまして、今、教育課長のほうから報告をいただきまして、100件ということですね、改めてこの危険箇所がまだ潜んで、今まで見えてなかった部分も、新たに上がって来たというふうを感じるわけでございます。</p>

	<p>今の具体的な重点事項につきましては、重なるようなところも、各学校においてもですね、全体的に重なるような内容もあったようなことで受け止めさせていただいたわけでございます。</p> <p>いずれにいたしましても、こういった内容につきましては、しっかりとまた県のほうにも伝えさせていただきながら、町といたしましても、対応、対策が必要なところは、また、対策等を講じていかなければいけないのかなというふうに感じるわけでございます。</p> <p>後でまた少しふれさせていただきますけれども、先へ進めさせていただきます。</p> <p>質問といたしまして、通学路等の改善を指摘した件について、ということで、私、これまでに学校の通学道路とか中山間地域の道路のこととか、これまでに質問させていただいております。かなりしつこく質問するんじゃないかというふうに思われる点もあるかと思われましても、熱心に災害等の予防ということで、質問させていただいているということでありますので、ご了承いただきながらお願いしたいと思っております。</p> <p>私の過去の質問の中でございます。</p> <p>平成22年12月議会一般質問ということで、東小田小学校へ登下校する子どもや住民の交通災害の予防という観点に立って、全線開通後の篠隈・下高場線道路裏の橋付近に、プリント写真を用意させていただいております。横断歩道の設置を求めさせていただきました。</p> <p>教育課長答弁といたしましては、ぜひともそこに横断歩道の設置をお願いしたいというふうに考えているところだが、学校、PTA、保護者、関係区と十分協議し、要望したいと申されました。</p> <p>その後、平成23年6月に下高場区長さんから要望書が提出され、朝倉警察署に採択のお願いをしたということでございます。設置は、県公安委員会の判断だが、お願いをしていくと、平成23年6月議会質問で、答弁を環境防災課長のほうからこのたびはいただいております。</p> <p>内容は変わりますけれども、平成23年9月議会一般質問の中では、三並小学校の通学道路で、曾根田川橋付近の道路、筑紫野・三輪山麓線は、大型車の通行も含め増加傾向であるが、車道下り線の歩道より側にくぼみがあり、また、車道と歩道間の縁石の高さが低い、こちらもプリン写真がございまして。など、登下校の子どもたちの横を、車が通る状況は不安を感じるので、点検と対策を求めました。</p> <p>子どもたちが三並小学校へ、概ねこの道路を約半数ぐらいの児童たちが通って、登校しているというふうに見受けておるところでございます。朝の8時前後ぐらいの時間でですね、40名から50名ぐらいが登校していると思っております。</p> <p>建設課長の答弁では、危険な場所に対しましては、速やかに朝倉県土整備事務所、県当局に要望活動を行っていくと申されました。</p> <p>そこで、具体的な質問でございます。</p> <p>私が要望させていただいておりました今の2点、今回学校のほうから点検の中ですね、要望として上げていただいているかどうかという確認をですね、教育課長のほうにお願いを申し上げたいと思います。</p>
議長	教育課長
教育課長	<p>お答えいたします。</p> <p>曾根田橋付近道路のくぼみにつきましては、今回、学校からの危険箇所として報告され、一応県のほうにもですね、報告をいたしております。</p> <p>それから、篠隈・下高場道路の横断歩道の設置の件につきましては、これは、一連の手続きが済んでいるということから、報告はあっておりません。以上です。</p>

議 長	建設課長
建設課長	<p>お答えいたします。</p> <p>関連しまして、建設課のほうよりお答えいたします。</p> <p>前回、質問に上がっておりました、この曾根田橋付近道路のくぼみの危険箇所への対策ということで、主要地方道筑紫野・三輪線、私も現場を確認をさせていただきました。</p> <p>県土整備事務所に確認をいたしました。昨年ご指摘の箇所については、確認をしております。今回、24年度にて早めに処理をさせていただきます。また、縁石等についての、この段差の問題とかですね、そういう問題もありましたけど、県としては、総合的な判断で、全体的舗装の打ち替え改修とか、そういうものも視野に入れておまして、現在検討中とのことであります。</p> <p>それとまた関連しまして、先ほどの篠隈・下高場線の横断歩道の設置の関係でございます。関連しておりますので、併せてお答えいたします。</p> <p>今後篠隈地区のまちづくり交付金事業等におきます下高場区、若草・安野線などの整備のときに、該当する箇所としましては、その時点におきまして、検討課題とさせていただきますというところで考えております。以上でございます。</p>
議 長	一木議員
一木議員	<p>建設課長、ご説明、ご答弁を受けたわけでございます。</p> <p>お手元のプリントのほうを見ていただきますとおりですね、曾根田橋付近になりますけれども、かなりな下り線。朝倉市へ向かう方向の道路の、ちょうど歩道の横付近になりますけれども、かなりなくぼみでございます。昨年ですね、この件につきましては、危険を感じますということですね、お願いをさせていただいているところでございます。</p> <p>先ほどの1番の冒頭申し上げましたような、車を運転する運転者も注意はなさって運転はしていただいているものでございます。</p> <p>しかしながら、今でも携帯電話を手に持って運転されている方も見受けましますし、わき見運転とかいろんな状況があります。</p> <p>こういった場合に、このくぼみに左のタイヤがはまった場合ですね、片手運転の場合はハンドルを取られて、歩道へ車が入っていくということもですね、考えられないわけでもない。また、縁石も非常に低くなっております。舗装が重ね、重ねという形で、もう10cmあるかないかと、縁石の役目を果たしてないということ等もございまして、早く県土整備事務所のほうに整備をしていただきますように、引き続きよろしくお願いをしたいと思います。</p> <p>最初の通学路の総点検ということに、少し戻らせていただきますけれども。</p> <p>点検結果を踏まえまして、100項目ほど学校から上がっているということでございます。確認等はなされてあるということでございます。</p> <p>県のほうへすべてお願いをということになりますと、58自治体等の要望がたくさん上がってくる中でですね、これらの対策等がいつになるかも分からないということかと、いうふうにも考えられます。</p> <p>緊急性とかいろんなことありましようけれども、町としてもですね、この点についての取り組みあたりはですね、どのようにご判断をなされるかということについて、お尋ねをしたいと思います。</p>
議 長	教育課長
教育課長	<p>お答えいたします。</p> <p>今回の総点検を受けまして、県のほうからまた6月の15日付で通達がございまして、今回は文科省と、それから国土交通省、警察庁の3省庁が連携をして、対応策が</p>

	<p>検討されまして、その結果、通学路における緊急合同点検ということで、再度点検をするようにという通達が来ております。</p> <p>それには、タイムスケジュールが示されておりまして、地元警察署それから国土交通省関係でございますが、道路管理者、それと文科省関係で教育委員会が連携をして、8月までに点検を実施して、対応必要箇所の抽出を行うことになっております。</p> <p>その対応必要箇所につきましては、三者の連携協力によりまして、対策メニュー案の検討、それから対策案の作成をですね、そこで行いなさいということで、それぞれ対策が必要な場合については、対策の実施についての要望をですね、11月末までにそれぞれの関係機関、例えば警察を通じて公安のほうに要望、あるいは県道については県整備事務所、国道についてもですね、そういった関係で要望を出しなさいというようなタイムスケジュールを示されております。</p> <p>それと別にですね、例年町のほうでは、通学路の安全点検を行っておりまして、スクールガードリーダーそれから環境防災課と連携しまして、今回の場合は、特に総点検ということでございますので、警察署の主幹課も同行しまして、一緒に再度点検を行って、合同で行っていききたいと、そういうふうに考えております。</p> <p>その場所の状態とか改善内容によりましては、その都度区を通じまして、県の整備事務所、警察署、それから改善要望というか、そういうことで、一連の流れの中で出していきたいというふうに考えております。</p> <p>いずれにいたしましても通学路の安全確保につきましては、安心・安全のまちづくりを推進するためにですね、町としても万全を期す必要がございますので、そういう形で、今後取り組んでいきたいというふうに考えております。以上です。</p>
議長	建設課長
建設課長	<p>取り組みという面で、建設課、お答えをさせていただきます。</p> <p>去る6月19日ですね、新聞におきまして、通学路点検の歩道整備率がですね、福岡県は37%ということが出ておりました。市町村は特に低いというふうに記載をされておりましたが。</p> <p>筑前町の分の国県道、町道全体を調査しましたところ、本町の通学路の点検結果ですね、これは、市町村道路現況調査ということで、建設課の報告分ですけど、総延長が35.6キロ、そして整備延長が20.2キロということで、整備率は57%と、国県道、町道でなっているところでございます。</p> <p>今後の取り組みといたしまして、通学路で危険性の高いものから把握された、順次実施していくことですね、協議及び年次計画、総合計画との整合性を図りながら、検討していくことになるというふうに考えております。以上でございます。</p>
議長	一木議員
一木議員	<p>町自らですね、この件につきましてもしっかりと向かい合ってですね、子どもたちの通学路の安全確保に向かって、歩道の整備等も取り組んで、計画的に進めていくというようなことでございます。どうぞひとつそのような計画に基づいてですね、進んでいただきたいとお願いしたいところでございます。</p> <p>県のほうへの報告等がですね、各自治体から各教育事務所等から上がっていくわけでございますけれども、相当な数と申しますか。なかなか1年、3年、5年先まですべてができるということにはならないかなというふうに感じるわけでございます。</p> <p>この点につきましては、町のほうが県土整備事務所、また県のほうにもですね、いろんな機会等を重ねながらですね、やはり要望、危険な箇所等の緊急性を要するところ辺りは力を入れていただかなければ、なかなか1回要望させていただいたから、それが1年先、3年先にできるかということは、また別でございますので、いろんな機会を合わせてですね、取り組んでいただくということをお願いをしたいと思います。</p>

	<p>次の質問へ移らせていただきます。</p> <p>先ほど申しましたように、3番目に予定させていただきました質問を、2番目にさせていただきます。</p> <p>梅雨前に点検対策が必要な山間地域の道路について、ということでございますけれども。</p> <p>すでに梅雨入りが入って、梅雨半ばから後半のほうに向かっているわけでございます。本年は、この筑前町は豪雨はございましたけれども、集中豪雨、連続の豪雨ということにはあまりならなかったんじゃないかなということで、災害発生については、まだ報告等は聞いてないところでございます。胸をなでおろす思いで、やれやれというところでございますけれども。</p> <p>梅雨時期の集中豪雨による本町内の災害が、平成21年から22年度にかけて多く発生いたしました。2年間を合わせると207カ所で、被害総額は2億7千万円強の大きな被害と報告を受けております。</p> <p>その中には平成21年7月に三箇山開発線道路の崩壊、崩落現場があり、崩壊した場所近くに、長さ18m、幅は最大10cmのクラックがあり、雨水が舗装の下の土の中に漏れ、軟弱化し、崩壊、崩落の原因に繋がる、予防が必要と問題提起をさせていただいたところです。</p> <p>崩壊現場の補修工事と合せて、クラック発生場所は、応急処置、表面部の舗装補修工事が行われました。</p> <p>その後、本年3月、この場所には路肩注意の看板とポールが設置され、同じ場所にまたクラックが発生しています。プリント写真のとおりでございます。</p> <p>クラックの長さは約8m、幅が最大で10cmとなっていて、道幅が狭くなり、車の通行が規制されているところでございます。</p> <p>質問をさせていただきます。</p> <p>応急処置を最初になされましたけれども、その後、どうなされるつもりであったものか、その点をまず、お尋ねをさせていただきます。</p>
議長	建設課長
建設課長	<p>お答えいたします。</p> <p>議員ご指摘の現場につきましては、道路パトロールにて、舗装及びブロック積みのひび割れを確認しております。動きがないか、経過観察をしているところでございます。</p> <p>万が一を想定しましてですね、バリケードを施すことにより、車両が近付かないように対策を、現在しているところでございます。</p> <p>ちなみに現在の経過観察結果につきましては、ひび割れを発見したときからですね、きちっと印をして、観測をしております。</p> <p>現在、変化がなしということで、一応確認をしております。</p> <p>また、定期的にパトロール、また臨時的にパトロールしながらですね、引き続き観察をしていきたいと、現在思っているところでございます。以上です。</p>
議長	一木議員
一木議員	<p>建設課長、今、報告をいただきました。</p> <p>ひび割れの現状は、変化がなしということで、口が開いたりはしてないというふうには見受けているということでございます。</p> <p>それで、今後この状態が固まったといたしましたらですね、この後どうされるのかなということをお尋ねしたいと思いますけれども。</p> <p>こういったクラックというのは、当然ながら雨等が降りましたら、このアスファルトの下に水が浸透しますとですね、下の泥土ですね、泥土の軟弱化という形になって</p>

	<p>くるわけでございます。</p> <p>放置するのは良くない、また前回もこの場所にはですね、クラックが入って、同じような状況が発生したところでございます。かなりやっぱりこの負担がですね、あるんじゃないかなと。目視で確認が難しい部分の負担があるんじゃないかなというふうに感じるわけでございます。</p> <p>崖側は極めてコンクリーと関係でしっかりしているようでございますけれども、そういったことで、すぐさまどうなる、こうなるということにはならないかなというふうには見受けていますけれども、このまま放置ということは、いずれにしてもよくないということ、どうなされるかという点について、お尋ねしたいと思います。</p>
議長	建設課長
建設課長	<p>お答えいたします。</p> <p>今後どうなるのかということでございますが、万が一を検討し、現地に印をして観察中ではありますが、今のところは確認されておりませんが、今後も注意深くですね、観察をしていきたいと考えているところですが、クラックの広がり、もし動きが出た場合ですね、その場合におきましては、あとは費用もかかってくることでございますので、その状況により、あと工法とですね、どのように実施していくのかということを検討していくことに、そのように対処していくことになると思います。以上でございます。</p>
議長	一木議員
一木議員	<p>現在の、そういった観察をした上でご判断ということで、結構でございます。</p> <p>しかしながら、先ほど申しましたようにですね、当然ながらそういったところに雨水、雨水がですね、入って行っているということには変わらないわけでございましてですね、車も大型車が通りにくいという状況も変わらないわけでございます。</p> <p>この辺りをずっとですね、何カ月も放置するというわけにはいかないというふうに考えられますので、その点のご判断をいただきながらですね、対応いただきたいというふうにお願いしたいと思います。</p> <p>それでは引き続きまして、同じ質問内容の2つ目に入りますけれども。</p> <p>県道三箇山・山隈線ということで、この道路につきましては、直接町の管轄外でございますので、朝倉県土整備事務所ということになります。</p> <p>気になるクラックということで、この件につきましても、23年、昨年6月議会の一般質問で申し上げたところでございます。</p> <p>この道路は夜須高原地域住民や各施設利用者、または嘉麻市、飯塚市方面への利用など、通行する車の台数が増加し、道路全長においてかなり傷んできています。</p> <p>特に平成23年6月議会一般質問で取り上げさせていただきました危険箇所は山の谷側で、幅約5cm、長さ5mの気になるクラックが2カ所ほどで見受けるということで、災害予防対策ということで質問をさせていただきました。</p> <p>当時建設課長、答弁をいただきましたけれども、現場は確認をいただきながら、かなりのクラックが発生をしていると。朝倉県土整備事務所に連絡をしていると、天気が良くなれば対応していただけるということで、今後も国県道であっても危険箇所を発見した場合は、直ちに通報を行っていくと申されたわけでございます。</p> <p>この場所も雨が降ると、クラックから雨水が土の中へ浸透し、舗装下の基礎が緩み、軟弱になった状態の道路に車が通ると、振動、重みなどで道路崩壊へと繋がる危険があると。谷側でカーブの道路であるので放置できないが、どうするのかということで、改めてお尋ねをさせていただきたいと思います。</p> <p>全般的に規模の大小のクラックはですね、道路もかなり天皇陛下がお見えになられたときあたりにきれいに整備をなされた道路でございますけれども。かなり全体的に</p>

	<p>傷んでは来ております。</p> <p>私が申し上げたいのは、特に、道路のカーブ側で、谷側とかですね、こういったところには、どうしても車の付加等がやはりかかります。</p> <p>こういったところにクラックが発生しておりますと、だんだん良くはならず傷んで悪くなるということですね、そういったところを2つほどお願いをしておりましたけれども、この件について、どう対処なり対応されるのかということで、お尋ねしたいと思います。</p>
議 長	建設課長
建設課長	<p>お答えいたします。</p> <p>議員ご指摘の危険箇所、道路への対策でございます。</p> <p>県土整備事務所に連絡、確認をいたしております。</p> <p>昨年ご指摘の箇所が2カ所あるということで、A箇所、B箇所ですね、平成23年度に調査済みでございます。方向としましては、24年度に処理をし、早めに補修とのことをお願いしております。</p> <p>その予定としましては、A地点、下と上のほうがあります。下のほうのクラックにつきましては、近日の7月頃に予定をしております。そして、B地点の上側のほうにつきましては、その間に相当やっぱり朝倉管内ですね、そういう未補修箇所があれこれたまっておって、順番的に秋ごろまでには対応できることということで、一応連絡をいただいております。以上でございます。</p>
議 長	一木議員
一木議員	<p>実は、昨日ですね、また、この現地に行きまして、確認をさせてもらったところで</p> <p>す。</p> <p>課長のほうからご説明を受けたわけでございますけれども、上のB地点のほうですね、ずっと上って源次郎広場から左のほうの山のところに鉄塔の工事がされてあります。これからもう少し上ったところがB地点ということで、私が自分で勝手にですね、地図の上に表示をさせていただいておりますけれども。</p> <p>こちらのほうは、昨日一昨日ぐらいですか、舗装が完了しているように見受けてきたところでございます。かなり広く、道路の白線のところがですね、壊れて取れていると。</p> <p>上から下ってきましてけれども、こちらのほうは舗装工事等をなさっていただいているというふうに見受けたところでございます。また、町のほうでも確認いただければと思いますけれども。今、説明を受けましたので、よろしくお願いをいたしたいと思っております。</p> <p>それでは、続きまして、3番目の質問ということで、筑紫野・三輪（山麓）線について、ということで質問をさせていただきます。</p> <p>この件につきましても、たびたび質問をさせていただいております。</p> <p>沿線の議員ということもございまして、また、期成会のほうへもですね、出席等もさせていただいております。直接ということは、答弁も範囲等がございましてですね、難しい面もあるかというふうには存じますけれども。</p> <p>一番、この筑紫野（山麓）線の開通で、良い恩恵を受けるのは筑前町ということでですね、ぜひとも1日も早く全線開通ということは、もう誰もが願っております。そういった願いを、思いを込めて質問をさせていただきます。</p> <p>筑紫野・三輪（山麓）線の全線開通は、本町にとって重要課題であり、問題は、筑紫野工区那珂県土整備事務所管轄700mのうち400mが未改良で、用地が取得されていません。これまで全線開通の見通しは、私自身が平成11年から町議会議員ということで、夜須町の議員として公職に携わっております。</p>

その折平成15年には全線開通ということで説明を受けておったところでございます。その後、平成20年、24年ということで遅れているということでございます。

そして平成21年の主要地方道筑紫野・三輪線改良促進期成会、いわゆる期成会の総会ということで呼ばせていただきますけれども、通称山麓線期成会の総会の折、平成21年でございます。

24年春には全線開通する計画ということで、1年前倒し、23年ですね、前倒しにでも開通できるように努力すると。県の担当の方から説明を、期成会の中で受けたわけでございます。田頭町長もご出席されてございました。

しかし、その翌年、平成22年8月5日の期成会総会時、福岡県道路建設課からの、開通の見通しが分からないという説明を受けました。町長をはじめ私どももですね、どうということかということで、5名ほど、平原市長さんも含めてですね、質問をさせていただいたわけでございます。

平成19年12月に、土地収用法的措置の手続きに入ったにもかかわらず、認可が下りないと。事業認定に向けて協議、強制的に取り上げることには、国としては、慎重であり難航しているということであり、今後強制収用と話し合いと、二本立てで進めると説明を受けたわけでございます。

筑紫野・三輪（山麓）線が全線開通をいたしましたら、1日当たり予想では7千台ほどの車が通行するというので、その5分の1がみなみの里へ立ち寄ったとすれば1,400台、1,400名以上の方が新たにみなみの里に寄っていただければ、売上等の増にも繋がるというふうな期待もあるわけでございます。

私は、平成22年9月定例議会一般質問の中で、何としてもこれ以上遅れないために、平成24年春の全線開通に向けて、福岡県は全力で取り組むように、関係市町村より、陳情、嘆願書を提示して、県にもっと強く要望していかなければならないと考え、質問をさせていただきました。

田頭町長のご答弁で、県の職員の説明に対しまして、昨年の期成会総会時の説明と今年の説明の違いに困惑以上のものを感じたというふうに、町長は述べられました。

県の方に、事業をしっかりと推進していただくように要望するしかない、地元選出の県議会議員を通じて、県の幹部、部長クラスの方と直接お会いしたい、そしてその後の手立てを考えたいと申されました。

その後、平成22年12月に田頭町長、畠中副町長、砥綿建設課長、金子議長、藤野副議長は県へ出向かれまして、林県議同席のもと、県に対して、しっかりと取り組んでもらいたいと、事業が前に進むように努力してもらおうよということで、要望をさせていただいたわけでございます。

23年7月13日朝倉市の市町村会館において、期成会の総会が開催されました。その折、那珂県土整備事務所の道路課長による進捗状況の報告では、昨年より大きく前進し、今まで測量すらできてない状況であったが、昨年22年から地権者の方々と協議が行われるようになり、400mの未改良場所の測量を行い、筆境案に同意を得たと。地籍構成等の登記が8月末に完了したと連絡を受けていると。登記が完了すれば、今後は用地測量、用地買収、事業認定も並行して進め、23年度中に任意交渉を行い、合意へと進めると、報告を受けました。

私ども議会は、議長、副議長、沿線の議員ということでですね、当時ご案内を受けていましたけれども、昨年ちょうど議員の視察研修で、この期成会の総会には出席ができませんでしたので、当時の担当課長のほうから、そのように説明を受けたところでございます。

そこで質問に入らせていただきます。

立場上ですね、町長もご答弁には慎重にということとですね、私が申していることに対して、十分答えられない部分も出てくるかと思われまますけれども、その点はご了承

	<p>承らせていただきたいと、私も思っております。</p> <p>23年度中、今年の24年の3月末に任意交渉を行い、合意へと進めると申されておられます。すでにその時期は経過しております。</p> <p>進捗状況がどうなっているかということについて、まず、説明を求めたいと思います。</p>
議 長	建設課長
建設課長	<p>事務的な内容にて、建設課のほうからお答えいたします。</p> <p>今年の2月22日、筑前町の町有地と道路用地協議者である地権者との交換協力による用地交渉契約なども相当分終わりました、町の動きにより、前年より進捗している状況であります。</p> <p>同4月25日には筑前町が呼びかけまして、筑紫野市にて那珂県土整備事務所長、筑紫野市長、筑前町長が集まりまして、合同の働きかけとしまして、事業が少しでも早く進むように、事前に要望協議をいたしました。</p> <p>また、6月25日には、筑前町からの要請で、那珂県土整備事務所長、朝倉県土整備事務所長、筑前町長同席にて、これまでの進捗状況を確認しているところでございます。</p> <p>確認した内容によりますと、昨年までは境界協議が進まず、確定していないところでありましたが、ようやく境界が確定し、買収面積が決まったそうでございます。</p> <p>昨年より用地買収を行っており、現在、道路の用地補償買収関係者もかなりわずかとなりました。用地交渉も最終段階となったとのことでございます。以上でございます。</p>
議 長	一木議員
一木議員	<p>説明では、お二方ですか、用地の筆界等に立ちあっていたかきながら、交渉と話し合いで了解いただければということで、進められてあるというふうに向っております。</p> <p>当然ながら筆界等が終わって、筑紫野法務局のほうへそのような手続きをなさっていただいておりますので、法的措置も進めることができるというふうな段階になっておりますけれども、願わくば話し合い等で用地の取得について応じていただければということで、理解をしているところでございます。</p> <p>なかなかですね、やっぱりこういったことは、そう簡単に行かないということは私どもも承知するところでございます。</p> <p>田頭町長におかれましては、これまで直接その土地の持主の方ともお会いをなされながら、ご努力をなされてあるということも承知しているところでございます。</p> <p>振り返ってみますとですね、なかなかやはり長い年月を経ておりまして、それではこの交渉なり話がですね、いつぐらいにははっきりと定まるのかということは、分かりませんし、今、詰めに入っているというふうなことは、今、課長のほうのご説明を受けたわけでございますけれども。</p> <p>私どもといたしましては、本当に長く待って、待って、待って、待ち望んでいるといった中ですね、今度7月の13日に、この筑紫野・三輪線改良促進期成会総会ということでご案内を受けております。</p> <p>この総会の折にはですね、そういった見通し等が立ちましたよという報告をいただきたいな、というふうな思いでおるわけでございます。</p> <p>その辺りはですね、ひとつ那珂県土整備事務所関係の担当課長さんなり県のほうへは、ぜひ伝えていただきたいなというふうをお願いしたいところでございます。</p> <p>その説明によってはですね、私どもも責任のある沿線議員でもございますし、しっかりとですね、また質問等をぶつけさせていただかなければいけないんじゃないかな</p>

	<p>というふうにも考えるわけでございます。</p> <p>その点は、ひとつお伝えをぜひともお願いしたいと思います。</p> <p>この状況について、もう少しふれさせていただきたいと思います。</p> <p>期成会の総会の折にですね、進捗状況ということで説明を今まで受けていました。</p> <p>平成20年7月25日、メモをとっておりました。</p> <p>私もこのときにも質問をさせていただきました。説明では、全く見込みが立たないと、境界も筆界も全く分からんというふうなことでございましたので、一応、相手の土地の所有者の方に接触をしていただきながら、その上で相談すべきことは相談するというを進めていただかなければ、職員の方も2年、4年で代わられますしですね、全く進まんじゃ、これはどうにもならないということをお願いしたわけでございます。</p> <p>この折に担当課の方の説明では、関係者に接触を行っていくというふうに申されたわけでございます。これが20年の7月でございます。</p> <p>21年の期成会の総会の折にも質問させていただきました。</p> <p>私のほうは、土地の主要者と接触等はいたしましたかというふうに、改めてまた翌年尋ねました。</p> <p>そうしましたら、特に地権者には会ってないというふうに申されたわけでございます。その翌年もですね。</p> <p>本当に何をしようのかというふうに、腹も立つわけでございますけれども、そういうことがございました。これ以上遅れないようにということで、申し上げたわけでございます。</p> <p>21年のこの7月の折に説明を受けたときには、19年度に、12月に法的措置を取るよというふうに計画をしていると、いうことで進んでいけば21年度に測量調査を起こって、23年度に工事を行えば24年度には全線開通ができるということに進んできたわけでございますけれども、今でもまだ見通しが見つからないということでもありますので、私といたしましては、この話し合いもですね、今からお盆前に見通しがつくのか、今年いっぱいかかるのか分からないというのであればですね、ある程度期限を持ってですね、話を進めていただきながら、その期限を限度といたしまして、あとは法的措置にでもですね、期間がかかっても入っていかなければいけないんじゃないかという気もいたすわけでございます。</p> <p>その点について、ご答弁がいただければ、いかがかなというふうにおん願ひしたいと思いますけれども。</p>
議 長	田頭町長
町 長	<p>お答えいたします。</p> <p>私も議員と全く同じ思いでございます。と同時に、具体性についてですね、今年の4月に筑紫野市の新市長とですね、ぜひともこの問題については、筑紫野市の地内でもあるし、ぜひ一緒になってやっていただきたいということで、私も相談をいたしまして、快く応じていただいて、筑紫野市役所でこの会合は持ったわけでございます。</p> <p>新しい所長でございましたけれども、よく理解をしていただいて、早速具体的な動きに入るといってございまして。</p> <p>それでおかつ、今回の議員化の質問もいただいているということも含めまして、また再度電話いたしましたところ、先日ですね、所長以下副所長も含めてうちのほうに来ていただいて、進捗状況を説明していただいたところでございます。</p> <p>一言で申せば進んでおります。しかしながら、具体的なことはですね、やはり直接県の担当者なり責任ある方から発言をしていただきたいと。私がまだそのことをですね、この場で申し上げるべきではないと、そのように考えているところでございます。</p> <p>したがって、今度期成会の総会がございまして、その折にですね、質問は十</p>

	<p>分にやっていただきたいと思っておるところでございます。</p> <p>ただ、非常に何と言いますか、交渉事はですね、微妙なところがございます。この私どもの発言によって、そのことで問題になればですね、むしろよろしくない結果でも出れば、責任を感じるところでございますので、その辺は慎重に、結果良しを求めてですね、やっていきたいと思っております。以上でございます。</p>
議 長	一木議員
一木議員	<p>今、町長のほうから慎重で、そして思いは1つということですね、私どもも町長の今のご説明の下にですね、また13日の期成会の総会と一緒に臨ませていただきたいというふうに考えておるところでございます。</p> <p>説明をいただいた上でですね、また慎重に発言等もさせていただきたいと思っております。</p> <p>町が、この山麓線、筑紫野・三輪線が開通に向かって進んでいく中で、道路の問題とか安全確保とか沿線のおうちの方たちの交通量が増えればですね、いろんな安全に対する気遣いとか、そういったこと等が私どもも気になる点が多々ございます。</p> <p>この点については、前回は申しましたけれども、早めに町としては点検をなさっていただきながら、いろんな問題等感じられるところは、県土整備事務所等へ上げていただきながらですね、早めに手を尽くしていただくということが大事と思われれます。その点についてのご説明を求めたいと思います。</p>
議 長	建設課長
建設課長	<p>お答えいたします。</p> <p>本町が特に交通安全対策ということで考えますと、重要な課題等は捉えておりますので、安全な道路となるようにですね、今、議員さんが言われましたように、県土整備事務所及び警察、または地元の十分なですね、連絡を密に取りながら調整し、交通安全に万全を期すことにですね、努めていきたいと考えております。</p> <p>また、開通に向けて点検などをし、今後対応していくことになります。一応、そのように考えております。</p>
議 長	一木議員
一木議員	<p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは最後でございます。</p> <p>三並交差点右折帯改良工事について、ということで質問させていただきます。</p> <p>私は三並交差点の必要性について、平成19年6月、20年3月と9月、21年6月、22年3月議会の一般質問で、改良促進を求めさせていただいてきております。</p> <p>三並交差点の役割は、町の北部地域の要所として需要が高まっておりますが、筑紫野・三輪（山麓）線が全線開通すれば、1日当たり7千台ほどの車が通る見込みということで、三並交差点の役割は、山麓線のみならず、巡回型の筑前町の魅力あるまちづくりの中で、地域交通の要であり、近い将来を見据えた改良計画が具体的に進まなければならないと考えているわけでございます。</p> <p>これまでの質問に対しまして、町当局といたしましては、建設的な答弁を受けてはいますが、何ら進展へとは繋がっておりません。</p> <p>田頭町長、答弁をいただいておりますけれども、北部地域の要所だと認識していると。国道386号やすらぎ荘入口の交差点の三並へ上る道の渋滞も極めて深刻であり、優先すべきと。将来山麓線も全面開通するので、ぜひこの交差点改良も県等に要望していくと申されておられます。</p> <p>質問させていただきます。三並交差点についての取り組みは、県、県土整備事務所へ要望、働きかけ等は行われているものかどうかについて、お尋ねしたいと思います。</p>
議 長	建設課長

建設課長	<p>お答えいたします。</p> <p>この三並交差点の右折帯ということで、要望をされているかということでございますので、毎年ですね、県単要望とかの要望の時期が毎年1回あっております。</p> <p>毎年この分については、箇所としては上げておりますので。ただ、以前から議会等で質問されまして、交通量の調査の結果を受けてとかですね、前回と内容的には変わらない状況でございますが、今後も粘り強く要望をしていきたいと考えております。</p>
議 長	一木議員
一木議員	<p>やすらぎ荘入口の交差点改良後の考えというふうなことで、町長、ご答弁をいただいておりますけれども。</p> <p>同時にですね、この三並交差点の改良についても取り組んでいただきたいということで、このやすらぎ荘の交差点入口の改良につきましては、先の3月議会で質問を上げさせていただいておりますけれども、状況等をお聞きいたしまして取り下げをさせていただきます。</p> <p>今年のうちには、この件についても質問をさせていただきたいというふうに考えているところでございますけれども、同時にということ、私は強くお願いをしたいと思います。</p> <p>やすらぎ荘の交差点改良ができた後という考え方じゃなくてですね、同時に強くこちらのほうも進めていただきたいというふうに考えるわけでございます。</p> <p>今、要望は上げていただいているということで、課長のほうから説明を受けておりますけれども、同等にですね、要望していただきたいということでお願いしたいと思います。</p> <p>山麓線全線開通に向けての用地取得ということで、これも長い年月を要しております。まだ今でもですね、用地の取得が、まだできないということで、非常に長い年月を要していると。この三並交差点の改良につきましても、こちらから、やすらぎ荘信号から上っていきますと、右左ですね、農協さん関係の用地ということになっているかと思われまして。</p> <p>ここ最近、右のほうのファーマーズマーケットのほうへ曲がる手前の用地のほうは、農業さんの配送センターであったかと思われましてけれども、今現在は移転をされて空いているかと思われまして。</p> <p>また、公式ではございませんけれども、交差点の先の右の「ひまわり」さんも、今年の夏ぐらいにお店をやめようかというふうに、考えているということ等もお聞きしているところでございます。</p> <p>この信号も左のほうが大田運輸さんがございますけれども、下には地下燃料タンク等が埋設しているということ等もございます。</p> <p>思いはございますけれども、やはり具体的にですね、本当にこれを必要ということで、実現をしようということであれば、具体的な動きがないと、いつまでも進まないわけでございます。</p> <p>こちらから自らですね、用地の見通し等がつかないと、県のほうも許可をしていただけないということになっていくかと思われましてけれども。同時にですね、そういった努力を、用地取得に向けての努力をしていただかなければいけないというふうに考えるわけでございます。この点について、答弁を求めたいと思います。</p>
議 長	副町長、時間がまいっておりますので、簡潔にお願いします。
副 町 長	<p>私のほうよりお答えいたします。簡潔ということでございますので。</p> <p>国道と、現在開通されようとしているみなみの里のところの分、県道筑紫野・三輪線、この分との交通量の関係でですね、当然、筑紫野・三輪線についても、県道3方</p>

	<p>向あるわけでございます。</p> <p>そういった中で、県土事務所と協議をする中では、当然ながら優先順位というのがしてきます。</p> <p>そういった中で、この前も申しておったように、交通量がですね、7千台、8千台、右折するのが少ないという結果が出ておる関係で、同時ということにはですね、かなり厳しい面があります。そのことだけはお含みのほどをお願いしておきます。以上、回答といたします。</p>
議 長	一木議員、簡潔に。
一木議員	<p>右折が少ないか、多いかというのはですね、私も時折通りますけれども、右折の車が1台あれば、あとがずらっと繋がります。</p> <p>ということで、支障は必ずや出るといって、そういったことを見極めながら、町長もよくその辺りの状況、ご承知されているというふうに思われます。</p> <p>早目にですね、予測等を立てながら計画を進めていくということが大事というふうに考えますので、いろんな状況がございますけれども、さらなる前へ進む努力をお願いいたします、私の一般質問を終わらせていただきます。以上です。</p>
議 長	これにて9番 一木哲美議員の一般質問を終了します。
休 憩	
議 長	<p>ここで、休憩をいたします。</p> <p>3時20分より再開いたします。</p> <p style="text-align: right;">(15:10)</p>
再 開	
議 長	<p>休憩前に引き続き、一般質問を行います。</p> <p style="text-align: right;">(15:20)</p>
議 長	1番 山本久矢議員
山本議員	<p>通告書に基づき、3点ほど質問をいたします。</p> <p>まず最初に、独居老人の見守りについてということで、全協のときにも若干説明がございましたが、再度お聞きしたいと思います。</p> <p>見守りネットワークの状況はということで、質問に入りますけれども。</p> <p>まず、見守りネットワークというのは、活動の目的として、高齢の方々、安否確認、福祉問題の早期発見、緊急時の迅速な対応、高齢者の孤立化防止、それに安心感を持っていただくということで掲げられておりますが、お聞きします。</p> <p>筑前町としては、見守りネットワークの状況は民生委員さんだけなのか、他の皆様のご協力なりがあっておるのでしょうか、その点をお尋ねいたします。</p>
議 長	福祉課長
福祉課長	<p>お答えいたします。</p> <p>見守りネットワークの関係でございますけれども。</p> <p>まず、民生委員、児童委員の皆様方には、日頃から地域福祉の向上にご理解とご支援をいただき、感謝をしているところでございます。</p> <p>地域の独居高齢者宅を月1回程度の割合で訪問していただき、安否見守り活動をしていただいております。</p> <p>さらに町といたしまして、高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して安全に生活するために、高齢者への声かけ活動を基本とする見守り活動など、地域での取り組みとして、一人暮らし高齢者等見守りネットワーク事業を推進しております。</p> <p>平成23年度末現在で51行政区のうち38行政区で取り組みをしていただいております。今後も引き続き事業の継続をお願いするとともに、未整備地区につきましても、区長さんと積極的に協議を進め、全地区の見守りネットワーク構築に向けて努</p>

	<p>力をしていく所存でございます。</p> <p>さらにこういった行政区単位、さらに民生委員さん、児童委員さんの他に、老人クラブ連合会の「愛のひと声運動」、在宅介護支援センターの相談、訪問を通しての見守り活動、社会福祉協議会による在宅の高齢者等への配食サービス事業等による見守り、それから福祉課の看護師による訪問、地域包括支援センターによる相談、訪問などを通しての見守りなどを実施しているところでございます。以上です。</p>
議 長	山本議員
山本議員	<p>今ので説明は、少しは分かりましたが。</p> <p>インターネットで独居老人を検索すると、1人で日常の生活をするという高齢者(老人)と書いてあります。</p> <p>総合計画後期基本計画の人口の目標の中では、老年人口65歳以上は、平成22年は23.6%で、予測といたしまして、平成25年は26%、平成28年は28.0%とされています。</p> <p>今後ますます高齢福祉対策が必要になってくると思います。予測されます。</p> <p>ということで、この中で見守りネットワークをもう少し充実した形ではできないでしょうか。また、先ほど課長がご返答をされました、51区の中の38区がこの事業に取り組みされているということで、説明がなされていますが、先ほどの説明の中にも取り組まれてない区については、具体的にどのような理由で取り組めないか、把握してあればお願いしたいと思います。また、どのように取り組む推進を図っていくのか、ご質問いたします。よろしく申し上げます。</p>
議 長	福祉課長
福祉課長	<p>お答えいたします。</p> <p>各地区で区長さんを中心とする見守りネットワークの構築につきましては、平成22年度から推進をいたしております。</p> <p>未整備地区につきましては、基本的には定例の区長会で事業の説明をしながら、推進をいたしております。</p> <p>特に今年度は、4月に定例区長会で、初区長会で事業の説明をいたしまして、その後の6月の区長研修会におきましても、先進事例と言いますか、先進的な取り組みをしていただいている行政区の紹介をしながら、今後の引き続きの取り組みをお願いすると同時に、未整備地区につきましては、今後こちらのほうから、福祉課のほうから積極的に区長さん方をお願いをしたいということで、お話をしているところでございます。以上です。</p>
議 長	山本議員
山本議員	<p>取り組まれて、早急にまた全区が取り組まれるように努力されることを願いたいと思います。</p> <p>また、広域圏で見守りネットワーク体制というのがあると思いますが、筑前町はその点どのように取り組んでいかれているのか、また、電話回線を通じての緊急時連絡網なり、その点の説明をお願いしたいと思います。また、何件、何人おられるのかも、よろしく申し上げます。</p>
議 長	福祉課長
福祉課長	<p>お答えいたします。</p> <p>緊急通報システムにつきましては、平成5年度から広域圏の事業ということで、甘木朝倉広域圏内の構成市町村で協定書を結び、今日まで運用をいたしております。</p> <p>独居対象者といたしましては、独居高齢者または高齢者のみの世帯等で、急な発作等が予想されるなど、健康上特に注意を要する人に、緊急通報システムを設置いたしております。</p>

	<p>消防署と利用者宅を電話回線で結び、緊急時における連絡手段の確保のため無償で対応し、24時間態勢で利用をさせていただいております。</p> <p>利用決定につきましては、高齢者サービス調整会議に諮り決定をし、現在、91人の方に設置をいたしております。以上でございます。</p>
議長	山本議員
山本議員	<p>そのような取り組みをなされることは分かりましたが、近隣市町村で、今の電話回線を通じての見守り緊急時の連絡等ということで分かりましたが、その他に2本立てと言いますか、もう1つ光なりを使って行われている地域、見守りネットワーク、光回線等で行われているところがあれば、お教え願いたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
議長	福祉課長
福祉課長	<p>お答えいたします。</p> <p>緊急通報システムの関係でございますけれども、民間では総合サービスセンサー機器による確認、それからオペレーターによる電話確認、受動電話、メールによる確認、宅配サービスによる確認、この他、携帯電話の機能を活用した安否確認サービス等がございます。</p> <p>広域圏管内では身近では、東峰村のほうが平成23年度から、現在の緊急通報システムと別に合わせての併用でございますけれども、光ケーブルを使った一人暮らし高齢者の見守りということで、50世帯程度に受信機を設置ということで聞いております。以上でございます。</p>
議長	山本議員
山本議員	<p>東峰村のほうで、2本別光回線と言いますか、二本立てでやられるということなんですけれども、筑前町でもそういった2つの見守り回線と言いますか、そういうのでできないものかと思ひます。</p> <p>また、課長のほうから今言われました、携帯電話を使つての見守りということで、外に散歩なり買い物なりに出られる高齢者の方が、普段持つておけば携帯電話として3カ所程度繋がる携帯電話としても利用できる。また、万歩計としても利用できる。帰宅すれば、家の充電器に乗せておけば、動きがない場合は登録した地域、家庭なり、病院なり、そういった登録が何件かされるそうです。そこに随時メールで入ると。動きがないから危険だと、危ないと。そういうシステムもござひます。</p> <p>そういうのがありますので、もう少し、また独居老人、普段は2人で過ごされている方もおられると思ひますが、昼間は独居老人になるという方もおられます。単なる独居だけじゃなくて、昼間は家族、2人住まいで1人が働きに出るといった状態もできると思ひますので、ますますの高齢者の見守りネットワークをもう少し充実されることを願ひまして、この点の質問は終わりたいと思ひます。</p> <p>次の質問に入らせていただきます。</p> <p>通学路及び歩道の安全はということで、昨年3月に、私が一般質問をさせていただきました。また重なる、ほとんど同じような質問になりますが、三輪中の歩道ですね、信号機があるところの歩道の幅が狭いと。また、久光橋から稲永病院の前を歩いて、歩道が通りにくいし、お年寄りが手押し車を通るときでも狭いと、自転車と通学の子もたちが重なる部分で、たいへん通りにくいし危ないということでござひますが。</p> <p>昨年、前課長の返答では、県土と区長さんのお話が進んでいるということなんです、一向に進んだ様子が見えませんが、三輪中信号機、歩道についての進捗状況をお尋ねします。</p>
議長	建設課長

建設課長	<p>お答えいたします。</p> <p>三輪中学校前はですね、なかなか歩道整備への協力、説明等承諾の印鑑を頂くことがですね、タイミング的に頂けず、一時の間保留状態が以前続いておりました。</p> <p>平成23年6月に機会がありまして、県外の地権者とようやくお会いすることができまして、県に対して、この機会にぜひ事業への要望をとということで、ようやく全体計画区間としてですね、386号線交差点の久光橋から三輪中学校までの間、総延長600mですね、片歩道2.5m、もしくは3.5mということで、設計が確定をしましてですね、現在、全体設計が大体終わりました、事業期間としましては、大体5年程度はかかるということで、現在測量設計と地元の久光区長さん他役員さんにですね、支所あたりで事業内容の説明を終わりました、現在、境界の立会への協議となっているところでございます。</p> <p>基本的には386号線の歩道でありますので、県のほうで具体的には動いていただいておりますが、特に三輪中学校前の滞留所の確保に向けて、現在、その境界立会の日程などを、現在ようやく日程が7月の中旬ということで行うようになっております。その後、具体的な設計が進んで、今年是一部用地買収に着手していけるのではないかと思います。</p> <p>今後も町として、歩道整備計画に向けて、各関係者へ説明し、事業の推進を図っていきたくと考えております。以上でございます。</p>
議 長	山本議員
山本議員	<p>進んでいるということで分かりましたが、約5年もかかるということで、長すぎるなという思いでございます。</p> <p>本当に進んでいるということでしょうか、次の、同じような質問ですけれども、次に移ります。</p> <p>反対側の車線と言いますか、反対側の久光交差点角に観魚屋さん、鯉屋さんと言いますか、金魚屋さんがありますが、あそこから川を渡って1軒民家がございます。そこで歩道が途切れております。それから、次の三輪中学校校門手前の喫茶店ですかね、喫茶店の横に普通学路に使っていた、今はもうあぜ道というか、草ぼうぼうになっておりますが、以前はそこを通っていたわけですね、昔の町営住宅のところに出て来る道でございます。</p> <p>それと関連して、向こうに、反対側に歩道ができないものか、また、できるような返答の、前回のお話があったようですけれども、もしかして私の記憶違いだったら失礼ですが、そこ辺の計画等はあるのでしょうか、お尋ねします。</p>
議 長	建設課長
建設課長	<p>お答えいたします。</p> <p>概略でございますが、工事する区間600mの北側と南側ですね、国道386の北側、南側に全体計画で歩道を計画しております。</p> <p>今言われました久光橋から中学校につきましては、南側のほ場整備をしております田んぼのほうをご相談をしながら、本来でありますと、中学校まで国道沿いにですね、作るべきですけど、現在、ちょっと家とかが張り付いております。</p> <p>そういう状況からしまして、今、質問のありましたところは、中学校と国道との間に、元浦ノ原団地、町営住宅が前あったところがあります。その町道をですね、代替の歩道という形で整備を、本年度の総合計画ですかね、そういうものを上げていくということで、現在考えているところでございます。以上でございます。</p>
議 長	山本議員
山本議員	<p>早急の出来上がりなり、早急の対応をお願いしたいと思います。</p> <p>次に、篠隈地区、これも昨年の3月に質問した事項でございますが、また今回も質</p>

	<p>聞させていただきますけれども。</p> <p>篠隈地区は車の、グリーンパルさん、スーパーの佐藤石油店から国松産業辺りまでが歩道がない、縁石がとところどころあるというような状況で、また、車が入りしなくちゃいけないので、縁石がないところが多いんですが、そこら辺の改良なり、また、歩道ができないものか、また、家が建てこんでおりますので、用地買収等、また県土とのお話も必要なんでしょうけれども、どう言ったらいいですかね、最近、通学路の安全点検についてということで、先輩議員が3人ほど関連してお話しされましたけれども。</p> <p>テレビ、新聞で、小学校の生徒たちの列に車が突っ込むような事故が起きております。その点、どのように考えてあるのか。また、反対側の宮原タクシーあたりの歩道で斜めになっております。たいへん通りにくいです。</p> <p>手押し車と言いますか、ステッキカーという、お年寄りが買い物するときに押していくような押し車がございますが、それも斜めになって、たまに引っかかって、転倒まではいきませんが、通りづらいというような状況が見えております。</p> <p>その点の、反対側ですね、両方ですね、佐藤石油店と宮原タクシー側の歩道についての進捗状況なり、ご説明をお願いいたします。</p>
議長	建設課長
建設課長	<p>お答えいたします。</p> <p>23年度3月の回答に変わらない状況でございますが。</p> <p>筑前町の国道386号沿いの歩道計画ということでですね、現在事業中の箇所及び計画、設計中などのですね、要望箇所が多ございます。</p> <p>町の西側から当たってみますと、二区、中牟田区、篠隈区、久光区、また、元国道386号線の区間であります新町・依井区ですかね、を中心に、県のほうも進めております。</p> <p>すべての箇所を同時に進捗するというは、予算的にも困難であるため、県、町としても優先順位を定めていながら、篠隈区についての事業を、部分的にはできず、全体計画を確実に作成して、総論賛成と、また、地元の連携協力をですね、確認する必要があると考えております。</p> <p>先ほどの篠隈地区につきましては、現在、町内整備予定箇所の進捗次第でということもありまして、要望にあたりましてはですね、以前から要望書とかが出ておりますので、要望に先立っては、その要望書を基に提出しております。</p> <p>県に粘り強く要望をしていきたいと考えております。以上です。</p>
議長	山本議員
山本議員	<p>こんな言い方をしたら失礼かもしれませんが、ほとんど昨年の返答と変わらないように感じます。前もって課長も言われましたけど。</p> <p>このような状況でございますので、大事故が起きてから、また、たくさんの方が亡くなられたということも起こりかねません。十分に協議され、早急の実現を願ひまして、次の質問に移らせていただきます。</p> <p>3番目の質問です。</p> <p>みなみの里の特産品開発状況についてということで、みなみの里の決算報告の中に、特産品とかテナントの方が入られて開発された品物とかが提示されておりましたが、特産品の売り上げ状況はということで、何が一番売れているのか、また、あんまり売れてないのか、そういった品物があつたらお教え願ひたいと、上から5番目だけでもいいし、一番下と一番トップだけの売り上げ状況ですね、それを説明願ひます。</p>
議長	農林商工課長
農林商工課長	お答えいたします。

	<p>個別に何が一番売れているのか、上位から5点ほどということでしたが、ここでは1個1個の各商品の金額ではなく、それぞれの現在のもとにした種別ごとの特産品としての売り上げを、ここでご報告させていただきます。</p> <p>平成21年度から特産品の開発、販売を行ってまいりましたが、平成21年度は筑前町産米粉のパン、筑前町産大豆「ふくゆたか」でございます。それらを使った豆腐、22年度からは米粉のピザ、木酢サイダー、さらに黒大豆筑前クロダマルを使ったきな粉、豆腐、パン、菓子類を開発し販売をして来ております。</p> <p>みなみの里での平成23年度の特産品の売り上げにつきましては、筑前クロダマルを使用しました、黒大豆を使用した製品ですね、これが8,410千円となっております。米粉のパン、ピザ等で11,466千円、それから大豆製品、ふくゆたかを使用しました豆腐とか揚げ豆腐の関係ですけれども、これが15,665千円、木酢サイダーで223千円となっております、合計で35,764千円の売り上げになっております。以上でございます。</p>
議長	山本議員
山本議員	<p>今の説明でよく分かりましたが、また、売上の少ない、極端に少ないのではないかもしれませんが、今後廃止とか廃版と言いますか、そういうお考えはあるのでしょうかということ、米粉パン、パンについては米粉で作ったパンだけなのでしょうか、また、今後麦で作ったパンは販売してあるのでしょうか、お聞きします。</p>
議長	農林商工課長
農林商工課長	<p>お答えいたします。</p> <p>商品の開発等につきましては、店のほうでもそれぞれに工夫を凝らしまして、若干売上が落ちるとか、そういった場合にはまた新しい工夫を凝らして、再度新しい商品を出したりとか、日々従業員のほうで努力をいたしまして、会社のほうとしても頑張っており、その都度、その都度新しい開発を行っております。</p> <p>それから、パンについてですが、加工所パンの部門におきましては、米粉のパンを一番の売りとして、特徴として押し出しております。</p> <p>小麦粉のパンも当然ございますけれども、ファーマーズマーケットみなみの里のパンの売りは、1番は今のところ米粉のパンということで、押しているようでございます。以上でございます。</p>
議長	山本議員
山本議員	<p>麦を使ったパンもあるということなんですが、お聞きしますと、地元産の麦じゃないということらしいですが、そうなのですかということ、値段的にも、價格的に高い部分があるかもしれません。また、加工するのに場所等も必要かもしれませんが、今後、地元の麦を使ったパンの製造は、お考えはどのようでしょうか、お尋ねいたします。</p>
議長	農林商工課長
農林商工課長	<p>お答えいたします。</p> <p>筑前町産だけの麦を使っているというわけではございませんで、麦そのものは普通一般に言う国内産の麦を使っているということでございます。</p> <p>ただ、地元の麦だけを使うのに関しましては、会社としてどういったものを仕入れて、どういったものを使うかということでございまして、会社の方針として決めていきますので、ここで私が町の立場で、使います、使いませんというご報告は、ちょっとお答えは差し控えさせていただきたいと思っております。</p>
議長	山本議員
山本議員	<p>今の点については、十分協議なされて、値段の若干の高い部分もあるかと思っておりますが、できるだけ地元産の麦を使って加工品を作っていたいただきたいと思っております。</p>

	<p>す。</p> <p>次に、商工会、JAさん、また製粉会社等で協力して、麦プロジェクトというのができあがっております。昨年は麦太郎、本年の6月には麦夏ちゃんと言って、ラーメンとかいろんなお菓子とかに使える麦が開発されております。</p> <p>またもちろん、レストランとか菓子販売店とか、そういった加工をして売っておられるお店が集まって麦プロジェクトを作っております。</p> <p>昨日区回りで入っておりました町広報に、麦プロジェクト麦夏ちゃんのこととか載せていただいておりますが、それで皆さんもご存じだと思いますが、何らかの形で麦プロジェクトに対しての、通告書には助成はと書いておりましたが、応援等は何らかの形でできないものかということで、先ほど話しました広報に載せていただきまして、本当にありがたいと思っております。</p> <p>また何らかの形で、その点、麦プロジェクトに対しての応援とかその内容ですかね、何らかの形でできないものか、お尋ねします。</p>
議長	農林商工課長
農林商工課長	<p>お答えいたします。</p> <p>確かに現在、麦プロジェクトが進んでおりまして、町内の商業者それからJAのライス事業化、大洋製粉それから筑前町商工会などが協力して、あと町内の商工業者さんですね、そういった方々が協力して、独自に筑前産の小麦粉を使った商品というので開発をされております。</p> <p>薄力粉を使った麦太郎という命名がされておりますが、これはチクゴイズミでございまして、それから先日発表会がありました麦夏ちゃん、これは強力粉でございまして、これはちくしW2号を使いました、福岡県がラーメン用に開発した小麦です。</p> <p>そういうのを使いまして、筑前町の中で商店主の方々が、いろんなオリジナルの商品をご自分のお店とかで作って、提供をされています。</p> <p>私どもとしまして、町としまして、町村フェアなど町内外でのですね、福岡方面出ていくようなことがありましたら、そういった際の、一緒に商品を周知させていただいたりですね、それから特産品の営業活動の際にPRを一緒に行いますとか、町内外各種イベント等に一緒に商品を参加させて、ご紹介させていただいたりとか、そういった方面でのですね、応援をこれからも取り組みはさせていただきたいと考えております。以上でございます。</p>
議長	山本議員
山本議員	<p>十分ご協力していただき、頑張っていたいただきたいと思います。</p> <p>また、「買って安心」、「食べて安心」、「寄って行ってください」というようなみなみの里、また、みなみの里でたくさんの特産品を使った加工品ができることを願いまして、私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>
議長	これにて1番 山本久矢議員の一般質問を終了します。
散会	
議長	<p>これにて一般質問を終結します。</p> <p>本日の日程は、全部終了しました。</p> <p>本日は、これにて散会します。どうもお疲れ様でございました。</p>

(15:55)